

岩手県産業教育振興会

令和3年度

事業活動報告書

# － 事業活動報告書 目次 －

|     |                                               |    |
|-----|-----------------------------------------------|----|
| I   | 岩手県産業教育振興会 会長挨拶                               | 1  |
| II  | 各部会の活動状況                                      | 2  |
| III | 大会助成事業及びキャリアアップサポート事業                         |    |
| 1   | 農業                                            |    |
| (1) | フラワーアレンジメント                                   |    |
| ア   | 水沢農業高等学校（さんフェア埼玉2021フラワーアレンジメントコンテスト岩手予選大会運営） | 7  |
| (2) | 日本学校農業クラブ                                     |    |
| ア   | 花巻農業高等学校（東北連盟大会・プロジェクト発表）                     | 8  |
| イ   | 花巻農業高等学校（全国大会・農業鑑定競技）                         | 9  |
| ウ   | 水沢農業高等学校（全国大会・農業鑑定競技）                         | 10 |
| エ   | 久慈東高等学校（全国大会・農業鑑定競技）                          | 11 |
| (3) | 出前授業                                          |    |
| ア   | 岩谷堂高等学校（江刺第一中学校との交流活動）                        | 12 |
| 2   | 工業                                            |    |
| (1) | 大会運営・大会参加                                     |    |
| ア   | 一関工業高等学校（さんフェア埼玉2021全国高等学校ロボット競技大会県予選大会運営）    | 13 |
| イ   | 水沢工業高等学校（ものづくりコンテスト東北大会木材加工部門大会運営）            | 14 |
| ウ   | 黒沢尻工業高等学校（ものづくりコンテスト東北大会旋盤作業部門参加）             | 15 |
| エ   | 福岡工業高等学校（ものづくりコンテスト東北大会電気工事部門参加）              | 16 |
| (2) | 体験教室・出前授業                                     |    |
| ア   | 福岡工業高等学校（中学校への出前授業）                           | 17 |
| イ   | 久慈工業高等学校（中学校への出前授業）                           | 18 |
| ウ   | 盛岡工業高等学校（工業化学科出前授業）                           | 19 |
| エ   | 一関工業高等学校（小中学校への出前授業）                          | 21 |
| オ   | 一関工業高等学校（地域プロジェクト）                            | 22 |
| (3) | 実技講習会・講演会                                     |    |
| ア   | 一関工業高等学校（第2種電気工事士実技講習会）                       | 23 |
| イ   | 岩谷堂高等学校（第二種電気工事士実技講習会）                        | 24 |
| ウ   | 一関工業高等学校（第1種電気工事士実技講習会）                       | 25 |
| エ   | 釜石商工高等学校（電子機器組立3級実技講習会）                       | 26 |
| オ   | 花北青雲高等学校（情報配線施工技能検定実技講習会）                     | 28 |

### 3 商業

#### (1) 簿記競技大会

|                          |    |
|--------------------------|----|
| ア 宮古商工高等学校（全国高等学校簿記競技大会） | 29 |
| イ 水沢商業高等学校（全国高等学校簿記競技大会） | 30 |
| ウ 盛岡商業高等学校（全国高等学校簿記競技大会） | 31 |

#### (2) 情報処理競技大会

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ア 盛岡商業高等学校（全国高等学校情報処理競技大会） | 32 |
| イ 水沢商業高等学校（全国高等学校情報処理競技大会） | 33 |
| ウ 花北青雲高等学校（全国高等学校情報処理競技大会） | 34 |

#### (3) ワープロ競技大会

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ア 水沢商業高等学校（全国高等学校ワープロ競技大会） | 35 |
| イ 花北青雲高等学校（全国高等学校ワープロ競技大会） | 36 |
| ウ 盛岡商業高等学校（全国高等学校ワープロ競技大会） | 37 |

### 4 水産

#### (1) 全国実習船運営協力研究協議会

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| ア 宮古水産高等学校（全国水産高等学校実習船運営協力研究協議会 大会運営） | 38 |
|---------------------------------------|----|

### 5 家庭

#### (1) 出前授業・体験教室

|                          |    |
|--------------------------|----|
| ア 平館高等学校（寺田小学校への紫根染出前授業） | 42 |
| イ 平館高等学校（平館小学校への紫根染出前授業） | 43 |
| ウ 平館高等学校（一般の方々への紫根染体験教室） | 44 |

#### (2) 実技講習会

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ア 平館高等学校（家政科学科調理技術講習会1） | 45 |
| イ 平館高等学校（家政科学科調理技術講習会2） | 46 |

#### (3) 職場見学会

|                  |    |
|------------------|----|
| ア 平館高等学校（職場見学実習） | 47 |
|------------------|----|

### 6 総合学科

#### (1) 講演会

|                    |    |
|--------------------|----|
| ア 紫波総合高等学校（特別講演会1） | 48 |
| イ 紫波総合高等学校（特別講演会2） | 49 |
| ウ 紫波総合高等学校（特別講演会3） | 50 |

#### (2) 実技講習会

|                              |    |
|------------------------------|----|
| ア 久慈東高等学校（西洋料理講習会）           | 51 |
| イ 北上翔南高等学校（フラワーアレンジメント実技講習会） | 53 |

#### (2) 職場見学会

|                   |    |
|-------------------|----|
| ア 紫波総合高等学校（職場見学会） | 54 |
|-------------------|----|

#### IV 全国産業教育フェア さんフェア埼玉2021

|             |    |
|-------------|----|
| 1 大会パンフレット等 | 55 |
|-------------|----|

#### V 研究文・作文コンクール

|                                                           |    |
|-----------------------------------------------------------|----|
| 1 応募要領                                                    |    |
| (1) 公益財団法人産業教育振興中央会・公益社団法人経済同友会募集要領                       | 56 |
| (2) 岩手県産業教育振興会募集要領                                        | 58 |
| 2 研究文の部                                                   |    |
| (1) 岩手県産業教育振興会                                            |    |
| ア 最優秀賞 盛岡農業高等学校 食品科学科<br>「岩手の天然記念物をパンに～目と口で楽しむさくらパン～」     | 60 |
| イ 優秀賞 盛岡農業高等学校 動物科学科<br>「宮古市の漁師さんをつくるこんブ（昆布）タづくり」         | 64 |
| 3 作文の部                                                    |    |
| (1) 岩手県産業教育振興会                                            |    |
| ア 最優秀賞 岩手女子高等学校 看護科3年 蔦谷秋良さん<br>「私を変えてくれた言葉」              | 68 |
| イ 優秀賞 遠野緑峰高等学校 生産技術科3年 菊池直哉さん<br>「食の匠」との関わりを通して気づいた私の生きる道 | 70 |

#### VI 御下賜金記念優良卒業生表彰

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 1 表彰規定                  |    |
| (1) 公益財団法人産業教育振興中央会選奨規定 | 72 |
| (2) 岩手県産業教育振興会選奨規定      | 73 |
| 2 優良卒業生表彰数一覧            | 74 |

#### VII 支援対象校一覧

|  |    |
|--|----|
|  | 76 |
|--|----|





## 岩手県産業教育振興会

会 長 鎌 田 英 樹

(株式会社IBC岩手放送 代表取締役社長)

### ご 挨 拶

まずもって会員各位のご支援のもと、令和3年度における「岩手県産業教育振興会」の事業を、ほぼ終了することができたことに心より御礼を申し上げます。

令和3年度の教育活動は、コロナ禍において、それぞれの学校や団体が工夫を凝らし、当初の計画に沿って進められて参りました。しかしながら、年明けからオミクロン株の急速な感染拡大により、小中学校への出前授業や外部講師を招聘しての技術講習会等が中止になるなどの影響が出ました。

当会では、コロナ禍においてもできるだけの支援を行うべく、学校からの支援要請に対しては助成額を増額する等の対応をして参りました。

このような中、本会からの支援を受け、東北大会や全国大会へ出場した会員校の活躍は素晴らしく、農業分野においては全国フラワーアレンジメントコンテストに花巻農業高等学校の中島さんが審査員奨励賞を、日本学校農業クラブ全国大会兵庫大会のプロジェクト発表及び平板測量競技で全国2位相当の優秀賞を、さらには同大会の農業鑑定競技には盛岡農業高等学校、花巻農業高等学校、遠野緑峰高等学校の3校が優秀賞を受賞しております。商業分野では水沢商業高等学校が全国高等学校ビジネス計算競技大会で、宮古商工高等学校が全国高等学校簿記競技大会で、盛岡商業高等学校が全国高等学校情報処理競技大会で上位入賞をはたしたほか、水沢商業高等学校が昨年に引き続き、全国高等学校生徒商業研究発表大会に出場しました。家庭分野では平舘高等学校家庭クラブが全国高等学校糧クラブ研究発表大会に4年連続して出場し、今年は家庭部会賞を受賞しました。

しかし、新型コロナウイルスの影響により、専門教育の知識・技能を争う東北大会や全国大会が中止されたり、リモート開催となったものも少なくありません。今後の新型コロナウイルス感染状況により、さらに厳しくなることも予想されます。

個人会員の皆様方をはじめ、企業・団体会員の皆様方にはコロナ禍で通常の経営活動が制限されている中、専門教育を学ぶ高校生への貴重な御支援をいただき、心より感謝申し上げます。各学校の様子は、この冊子に詳しく掲載しておりますので、是非、お読みいただき、岩手の産業教育の振興のため、引き続きご支援・ご協力賜りますようお願いを申し上げ、発刊のご挨拶と致します。

# 令和3年度における専門教育各部会の教育活動について

## 1 農業部会

### ○新型コロナウイルス感染症の教育活動への影響

- ・全体としては、令和2年度に比べると活発に活動できた。
- ・入学式、卒業式等は、年度始め・終わりともにコロナの影響が大きい時期であったこともあり、昨年度に引き続き制約のある中で、在校生を不参加または別会場リモート、来賓の参列者制限、祝辞の削減、国歌校歌の静聴、卒業証書授与方法の工夫による時間短縮など、十分な対策・工夫により実施した。
- ・部活動は県の活動指針に則り、状況に応じて様々制限をかけながら活動した。特に冬季スポーツ部は、状況悪化により大会中止や大会不参加となる状況があった。

### ○部会としてコロナ禍において工夫したこと

- ・文化祭は、日数の削減、一般公開の中止、保護者のみの来場可などの対策をとって実施された。農産物の即売については、別日をもうけ、整理券などを利用して混雑緩和に努めるなどの工夫により各校で実施した。
- ・農業教育研究会は、2回とも実施できた。1回目の遠野緑峰高校会場では、昨年度中止した研究授業を、別室から参観するリモートで実施した。2回目のサンセール会場では、日数の削減をはかり、DVDによる研修会、分科会を中心に実施した。
- ・農業クラブの生徒の各種会議、リーダー研修会などは、オンラインによるものが多くなり、他校生徒との親睦交流という面で、例年に比べて物足りないものとなった。
- ・農業クラブ県連盟大会は、家畜審査競技の中止となったものの、それ以外はすべて実施できた。花巻農業高校で行われた発表部門では、観客を入れず、発表順も学校ごとにまとめ、学校間の接触を極力抑える方法で実施した。
- ・農業クラブ東北連盟大会（宮城県）、全国大会（兵庫県）ともに実施された。会場の急な変更があり対応に苦慮する場面があったものの、運営事務局の努力により、生徒は普段の力を発揮することができた。特に、県大会・東北大会を勝ち抜いた花巻農業のプロジェクト発表チームが全国大会で入賞した。また、全国大会（兵庫大会）は、直前まで緊急事態宣言が出されており、感染状況によって運営変更ができるように、何通りもの準備を用意し、見事に成功させた。令和6年に全国大会を開催する本部会としては、敬意を表するとともに、大いに参考とさせていただきたい。

### ○その他

- ・コロナ感染が終息しなければ、制限を100%解除しての教育活動は難しく、令和4年度においても、今年度と同様にさらなる工夫が必要となる。来年度も終息しなければ三年生は「本来の形」を知らないままの卒業となる。令和6年度の全国大会岩手大会成功のためにも早い終息が望まれる。

## 2 工業部会

### ○ 新型コロナウイルス感染症の教育活動への影響

- ・ 入学式は来賓者の制限、保護者については各家庭1名とした。一時、落ち着いたかに見えたがオミクロン株により感染拡大が再燃し、卒業式においては入学式同様に来賓の制限、保護者1名に限定するとともに、昨年度に引き続き、ライブ配信を行うなど工夫して実施した。
- ・ 部活動については、昨年度と異なり、高校総体や高校野球は観客制限があったものの実施できたことは大きい。昨年度の先輩の気持ちを受け継いだ部員が最後まで頑張った。年度後半、部活動制限されたが、年度末に行われる選抜大会に向けてすべての部活動に積極的に活動している。
- ・ 進路については、コロナ禍の影響が心配されたが、順調に進路先が決定した。

### ○ 部会としてコロナ禍において工夫したこと

- ・ 工業部会として、昨年度実施できなかった総会を実施できた。11月の研究協議会は簡略化して時短実施した。また感染拡大のため、工業系教務主任会議をオンラインで開催するなど、可能な限り実施した。
- ・ ものづくり2021東北大会事務局の盛工であったが、各県各競技感染予防対策を行いながら、予定通り実施できたことは、昨年度早々に全国大会が中止決定となる中、東北ブロックのみが実施出来た経験を活かした。ものコン東北大会は昨年度に引き続き工業高校生の励みとなった。
- ・ 高校生ロボット競技県大会は感染対策のため大会日程を1日で行い、タイムテーブルにより、持ち時間の中で競技を行う形に変更工夫し実施した。
- ・ 高校生ロボット競技全国大会は、例年と異なり集合開催とせずに、Webにて開催された。県大会優勝の盛岡工業高校機械科ロボット製作班が、製作に係る創意・工夫などをプレゼン発表にて審査され一次選考を通過し14校の中に選ばれた。惜しくも二次審査まで進むことはできなかったが、健闘した。

### ○ その他

- ・ 全ての専門高校の頑張りは、産業フォーラムを見ても称賛に値する。専門高校の入学状況を考えると、専門高校の更なる魅力発信のため県産振の支援継続は必要不可欠と考える。

### 3 商業部会

#### ○ 新型コロナウイルス感染症の教育活動への影響

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各種行事においては多くの制限を設ける中での実施となった。入学式・卒業式では保護者や来賓の人数制限や式の時間短縮を行うなどの工夫を行った。
- ・部活動においては前日移動（前泊）を避け、検温やマスク着用、手指消毒を行うなど各種感染症対策を講じながらの競技実施となった。多くの競技で感染防止の工夫がなされる中、感染者の増加により、上位大会である東北大会が中止となる競技もあった。
- ・進路活動において感染症拡大の影響を受け、例年とは異なり就職・進学ともにオンラインによる面接試験が数多く実施されるなどの動きがあった。

#### ○ 部会としてコロナ禍において工夫したこと

##### （1）各種競技大会

- ・前日移動（前泊）を避けるために、日程のコンパクト化を図る。
- ・開・閉会式の簡略化。
- ・参加者について当日の検温、マスク着用と手指消毒を行うことを徹底。
- ・近距離での会話や発声をしない。（マスクの着用と間隔を広くとる会場設営）
- ・昼食時は密な環境を避け、自席で黙食を行うなど飛沫感染のリスクを避けること。
- ・十分な換気態勢を整え、換気の悪い密閉空間とならないこと。

上記の注意事項を遵守することで令和3年度に予定されていた各種競技大会は感染者を出すことなく全て実施することができた。

##### （2）県商からの特別支援

- ・各種検定試験会場での手指消毒、キーボードやマウス等の消毒のため、県商協会では物品を一括購入し、試験が行われる学校へ配布した。
- ・コロナ禍の状況を踏まえ、参集型の会議等に代え、Web会議や研修等を可能とするため、県商協会ではWebカメラとスピーカーフォンを一括購入し、会員校と準会員校へ配布を行った。
- ・2月3日（木）・2月14日（月）には配布されたWebカメラとスピーカーフォンを使用しながらMicrosoft Teamsを利用したWeb会議を実施した。

#### ○ その他

- ・感染状況を踏まえながら適切な計画のもと、令和4年度の各種行事を実施していきたい。

## 4 水産部会

### ○ 新型コロナウイルス感染症の教育活動への影響

- ・ 入学式・卒業式は来賓をPTA会長、同窓会長に限定し、当該学年のみが参加することとした。
- ・ 水産関連施設の見学や外部講師による講演会等の一部は、やむを得ず中止とした。

### ○ 部会としてコロナ禍において工夫したこと

- ・ 全国水産・海洋高等学校産業教育意見・体験発表会は、参集開催を取りやめたが、中止とせず、ビデオ審査となった。
- ・ 全国水産・海洋高等学校生徒研究発表東北地区大会は、参集開催を取りやめたが、中止とせず、ビデオ審査となった。
- ・ 長期乗船実習に当たっては、乗船後に陸上との往来を絶つとともに出港前にPCR検査を受けるなど、予防対策に努めて実施した。
- ・ 第68回全国水産高等学校実習船運営協会研究協議会は、参集開催とオンラインを併用して実施した。

### ○ その他

- ・ 第68回全国水産高等学校実習船運営協会研究協議会の開催に当たり、岩手県産業教育振興会から名義後援をいただき成功裡に終えることができた。
- ・ 産業教育フォーラムで販売した缶詰は、来場者に好評であった。
- ・ 産業教育フォーラムに参加した他の部会では生徒たちが積極的に販売やPR活動をしており、水産部会もそのノウハウを学びたいと考える。

## 5 家庭部会

### ○ 新型コロナウイルス感染症の教育活動への影響

- ・入学式、卒業式、部活動、対外活動、進路等に影響があった。

### ○ 部会としてコロナ禍において工夫したこと

- ・対外活動、部会行事などにおいて、感染対策を行った。
- ・今年度の家庭部会第2回研究大会は、11月2日(火)、大船渡東高等学校を大会本部とし、当初の予定をオンライン開催に変更して実施した。大会事務局は、高田高等学校が担当し、情報科の先生方の協力もいただきながら、Teams及びZoomで県立高校、私立高校を問わず参加できる形を検討した。
- ・大会運営を担当した沿岸支部では、6月にTeamsやFormsの活用について研修会を実施し、その後、数回のテスト配信等を通して準備を進めた。当日は、受信環境等に大きなトラブルはなく、88名の参加を得て初めてのオンライン開催を無事終了することができた。
- ・今後も、さまざまな状況への対応が求められると思うが、会員相互が研修する機会を作ることができるよう、部会運営に努めていきたい。

### ○ その他

- ・令和3年度は、花北青雲高校総合生活科の2年生課題研究では、地元特産の雑穀やりんご等を材料にした「りんごドーナツ」を考案した。また、昨年度は平舘高校家政科学科の3年生が中心となり、八幡平市にある岩手山焼走り熔岩流をイメージした「熔岩パン」を発表しており、両校はそれぞれの地域の事業所や企業と連携し、考案した商品を製造し、地域のイベントや11月に開催された産業教育フォーラムで販売している。
- ・大船渡東高校や宮古水産高校、久慈東高校では調理師養成を、一関第二高校や久慈東高校、一戸高校では福祉に関する人材の育成に取り組んでおり、今後の地域社会を担う実践力を有する人材の育成に取り組むこととしている。
- ・令和4年度入学生から実施される新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の実現が求められており、専門性の高い職業人を育成するための実践的・体験的教育活動を実施するため、これからも地域や地元企業等からのご支援・ご協力をお願いしたい。

農業：大会運営(全国フラワーアレンジメント岩手予選)

岩手県立水沢農業高等学校

- 【大会名】 第20回岩手県フラワーアレンジメントコンテスト兼  
第31回全国産業教育フェア埼玉大会さんフェア埼玉2021岩手県予選  
【日時】 令和3年7月27日(火)  
【場所】 岩手県立水沢農業高等学校 環境工学棟  
【大会概要】

第20回岩手県フラワーアレンジメントコンテストを実施し、「第31回全国産業教育フェア埼玉大会さんフェア埼玉2021」に出場する岩手県代表を2名選出します。

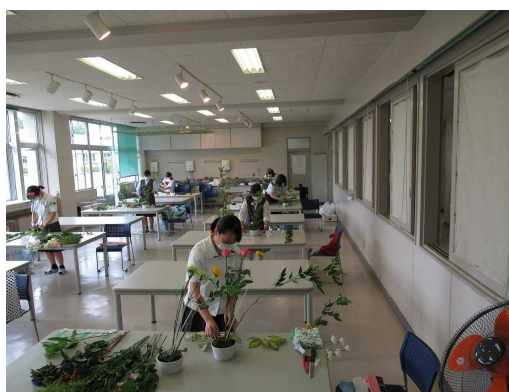
(1) 大会出場選手一覧

| 番号 | 選手氏名   | 高等学校 | 学科   | 学年 | 性別 |
|----|--------|------|------|----|----|
| 1  | 外山 瑞希  | 盛岡農業 | 植物科学 | 3  | 女  |
| 2  | 佐藤 天音  | 花巻農業 | 生物科学 | 3  | 女  |
| 3  | 中島 生智  | 花巻農業 | 生物科学 | 2  | 女  |
| 4  | 紺野 千遥  | 遠野緑峰 | 生産技術 | 3  | 女  |
| 5  | 谷川 乙女  | 遠野緑峰 | 生産技術 | 3  | 女  |
| 6  | 村上 麻衣  | 大船渡東 | 農芸科学 | 3  | 女  |
| 7  | 小野寺 愛実 | 水沢農業 | 農業科学 | 2  | 女  |
| 8  | 小野寺 真奈 | 水沢農業 | 食品科学 | 1  | 女  |

- (2) 審査員 ①審査長 日時 泰子(盛岡市) フラワー装飾1級技能士  
②審査員 煙山 誠(雫石町) フラワー装飾1級技能士

- (3) 結果 金賞 花巻農業高等学校 中島 生智  
銀賞 盛岡農業高等学校 外山 瑞希  
銅賞 大船渡東高等学校 村上 麻衣  
※金賞・銀賞受賞者が全国大会へ出場します。

【写真】



＜ 競技風景 ＞

【感想】

新型コロナ感染のため昨年度はコンクール自体を中止し、本年度は開閉会式・ワンポイントアドバイス講座をなくしたコンクールとなりました。練習等の制約もあるなかで、それぞれの選手のイメージを表現するため様々な工夫が見られました。金賞、銀賞を受賞した生徒は、リモート開催される全国大会での力を発揮してほしいと思います。

## 農業：大会参加(農業クラブ東北大会)

岩手県立花巻農業高等学校

【大会名】 第72回日本学校農業クラブ東北連盟大会令和3年度宮城大会

【日時】 令和3年8月26日(木)から8月27日(金)

【場所】 宮城県農業園芸総合研究所

【大会概要】 プロジェクト発表会を通して農業クラブ員の資質や技術の向上を図る

(1) 競技部門及びその内容

プロジェクト発表会分野Ⅱ類(生産物の加工技術や商品に関すること)に出場し、「地域食材の新たな有効利用 ～米麴と二子芋を使ったソーセージの開発と普及～」と題して、北上市の特産物である二子芋の中で廃棄されている二子芋の有効性を検証し、肉加工とマッチさせたことで、新たなソーセージを開発及び普及に取り組んだ成果を発表した。

(2) 参加者数・氏名

食農科学科3年7名 高橋恋春 菅原小聖 阿部佳奈 金澤巧哉  
後藤遥奈 佐藤柚菜 志田藤ひなた

(3) 成績結果

最優秀賞受賞(全国大会出場)

### 【写真】



発表の様子



発表後の集合写真

### 【引率者の感想】

この度は、本校として19年ぶりにプロジェクト発表会分野Ⅱ類で最優秀賞受賞並びに全国大会兵庫大会の出場権を獲得することができました。ご支援ご協力いただいた銀河フーズ株式会社様、二子芋農家高橋豊様、北上市農林部様、JAいわて花巻様そして本校教職員の皆様には深く感謝申し上げます。

コロナ禍の慌ただしい中急遽、出発前日に会場変更の連絡が入り、宮城県名取市の宮城県農業・園芸総合研究所において第72回日本学校農業クラブ東北連盟大会が開催されました。コロナがまだ落ち着かない中での異例の大会でしたが、主催者の懸命な運営の元、本校食農科学科3年ソーセージ研究班は、これまで2年間研究してきたことを審査員の先生や聴衆に伝えることができ大変満足することができました。発表後の質疑応答も堂々と受け答えができ大変立派で生徒たちは達成感を感じることができました。

これまで多くの研究課題があり、1つ1つ地域とともに解決できたことが評価につながったのだと考えます。本校校長をはじめ先生方、関係機関の皆さんには発表を何度も視聴しご指導して頂いたり、連携団体の協力・指導も頂きながらより高い専門性を身に付けることができたことに心より感謝致します。

最後に、常日頃より岩手県産業教育振興会様には、ご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。コロナ禍の大会でしたが無事大会を終了したことを報告させていただきます。

## 農業：大会参加(農業クラブ全国大会)

岩手県立花巻農業高等学校

【大会名】 第72回日本学校農業クラブ全国大会  
令和3年度兵庫大会 農業鑑定競技会

【日時】 令和3年10月27日(水)

【場所】 兵庫県立農業高等学校

### 【大会概要】

専門の学習で習得した農業に関する知識や技術の成果として、実物を見て「鑑定・判断」する能力を競い合い、その知識や技術の更なる向上を図るものである。

### (1) 競技部門及びその内容

実施分野は農業・園芸・畜産・食品・森林・農業土木・造園・生活の8分野、問題は各分野40問で、出題形式は20秒の択一問題と記述問題、40秒問題であり、名称や使用方法等を問う問題である。

### (2) 参加者数・氏名

総参加者数874名、本校からは6名参加

- ・【分野農業】生物科学科3年 成田 文歌
- ・【分野園芸】生物科学科3年 晴山 実咲
- ・【分野造園】環境科学科3年 菊池 大翔
- ・【分野農業土木】環境科学科3年 千葉 瑠貴
- ・【分野食品】食農科学科2年 瀬川 瑞樹
- ・【分野生活】食農科学科3年 佐藤 佑香

### (3) 入賞者数・氏名

優秀賞3名

- ・【分野農業】生物科学科3年 成田 文歌
- ・【分野農業土木】環境科学科3年 千葉 瑠貴
- ・【分野生活】食農科学科3年 佐藤 佑香

### 【写真】



### 【生徒または引率者の感想等】

代表生徒6名は、各科の代表が決定した段階から学習ノート作りや過去問題による出題傾向の分析など全国大会での入賞を目指して取り組んできた。

生徒達は、宿舎や移動時間においても自作の学習ノートやスマートフォンを使った学習を意欲的に行っており、その結果として参加生徒6名中3名が優秀賞をいただくことができた。コロナウイルス感染症の状況によっては、全国大会開催が危ぶまれる状況の中、高い志を持ちながら学習に励んだ生徒達を心から誉めてあげたい。

## 農業：大会参加(農業クラブ全国大会)

岩手県立水沢農業高等学校

【大会名】 第72回日本学校農業クラブ全国大会 兵庫大会 農業鑑定競技

【日時】 10月27日(水)

(10月26日(火)移動、27日(水)本競技、10月28日(木)式典・移動)

【場所】 兵庫県立農業高等学校

【大会概要】

日頃の学習で得た農業に関する知識・技術の成果を、鑑定・判定・診断・審査技術に  
わたり、その実力を競い合う競技である。

### (1) 競技部門及びその内容

実施分野「農業」、「食品」に参加。出題数は40問で各分野の実物について鑑定・  
判定・診断・審査を行い、1問20秒または40秒という時間で解き、正答率を競う。

### (2) 参加者数・氏名(東北・全国及び本校)

全国大会参加人数2,200人

自校参加者 分野「農業」 農業科学科 3年 管野 将夫

分野「食品」 食品科学科 2年 千葉 心優

### (3) 入賞者数・氏名(本校)

なし

【写真】



(本校 参加者)



(本大会会場入り口)

【生徒または引率者、大会運営主務者の感想等】

- ・3年生ということもあり、今まで勉強した成果を発揮できるチャンスであった。しかし、全国大会は、校内大会とは規模が違い、圧倒された。関西の地に結果を残すことができず悔しい思いもある。今後、この経験を後輩に託したいと思った。
- ・2年生の参加であるため、貴重な経験ができた。今回、入賞を逃したが、この悔しさをバネに、次年度の大会に向け再度勉強をし直す覚悟ができた。次こそは、満足できる結果を残したい。

農業：大会参加(農業クラブ全国大会)

岩手県立久慈東高等学校

【大会名】 第72回日本学校農業クラブ全国大会 令和3年度兵庫大会

【日時】 令和3年10月27日(水)～令和3年10月28日(木)

【場所】 兵庫県立農業高等学校

【大会概要】

(1) 出場競技部門および内容

- ・ 出場した競技部門は、農業鑑定競技会である。競技の内容は、教科「農業」での学習や学校農業クラブ活動で得た農業に関する知識・技術の成果について、実物を見て合計40問の問題を鑑定する。1問20秒で答え、最終の2問については40秒で解答をする。
- ・ この競技会は、校内予選等を勝ち抜いた全国の農業クラブ員で競う。
- ・ 競技分野は農業・園芸・畜産・食品・森林・農業土木・造園および生活の8分野である。

(2) 参加者数及び氏名

総合学科2年 外里 優樹 出場分野「森林」

【写真】



(農業鑑定競技会の会場にて)



(大会式典会場にて)

【感想】

本人は、代表に選出されてからも放課後等を利用し、継続した事前学習に取り組んできた。授業で触れていない部分も出題範囲に含まれており、大会当日寸前まで粘り強く学習を継続してきた。当日は多くの出場者の中で緊張しながらも、今までの学習成果を発揮した。しかし、結果として入賞は逃してしまった。この経験は貴重でありコロナ禍で大会が制限されている中で、今後の学校生活における糧となった。また、本人の悔しさも感じ取られ、その面でも収穫の多い大会であったと思われる。

今回の学習資料を基に、さらに研鑽を深め次年度は入賞を目指し学習を進めるサポートをしていきたい。

【事業名】 奥州市立江刺第一中学校との交流学习

【日時】 令和3年5月～10月

【場所】 岩谷堂高等学校 実習田

【事業概要】

岩谷堂高校の水田を活用し、江刺第一中学校の3年生とイネの栽培をとおして高校と中学生の交流学习を行い、達成感や有用感を育むことを目的として実施します。

(1) イネの栽培

(2) 参加者

ア 総合学科（生物生産系列）3年次 16名

イ 奥州市立江刺第一中学校3年生 186名

(3) 5月の田植えでは本校生徒は苗の植え方について中学生に技術指導し、中学生はその後、ひとり5メートルずつ苗を植え付ける体験をしました。10月の稲刈りでは本校生徒は稲刈り鎌の使い方や稲刈りの方法について中学生に技術指導し、中学生はその後ひとりずつ稲刈りを体験しました。

【写真】



田植え実習（1）



田植え実習（2）



田植え実習（3）



稲刈り実習（1）



稲刈り実習（2）

【事業運営者感想】

令和元年度より3回目の交流学习を実施しました。中学校の教科「技術・家庭」技術分野における「生物育成に関する技術」の単元で、イネの栽培について体験をとおして学習を深めることを目的としました。本校生徒は学んだことを活かし、中学生にわかりやすく伝える方法について考え実践することで、自分の学習について達成感や有用感を育むことができました。

【大会名】 令和3年度全国高等学校ロボット競技大会岩手県予選（選考会）

【日時】 令和3年 9月18日（土）

【場所】 岩手県立福岡工業高等学校

【大会概要】

ロボット競技をととして、仲間とともに「ものを作り、完成させる」喜びを体験する機会を与え、技術への関心と夢を育み、自発的な学習態度を育成する。また、この選考会において「第29回全国高等学校ロボット競技大会」岩手県代表を決定する。

1 競技内容

競技時間は3分間。競技は、「川越祭りの山車」（操縦モード）と「長滞ライン下りの船」（自立モード）を1台のロボットにまとめ、2つのモードを切り替えながら4種類のアイテム（得点対象物）を指定されたエリアに搬送し、「鴻巣4尺玉花火」を指定の台に置き、競技終了時の得点対象物の状況に応じて得られる点数の合計を競う。

操縦モードのロボットは、所定の場所に置かれている「川越サツマイモ」、「草加せんべい」、「深谷ネギ」、「狭山茶」、「鴻巣4尺玉花火」を指定エリアへ搬送する。自立モードのロボットは、障害物を避けながら指定場所へ移動する。

2 参加チーム

8校10チーム

3 競技結果

|     |          |       |          |
|-----|----------|-------|----------|
| 第1位 | 盛岡工業高等学校 | 機械科   | WKG38    |
| 第2位 | 盛岡工業高等学校 | 電子機械科 | 盛工ME2021 |
| 第3位 | 大船渡東高等学校 | ロボット部 | アルミの塊    |
| 第3位 | 宮古商工高等学校 | 工作部   | 龍騎       |
| 第3位 | 水沢工業高等学校 | 機械工作部 | すいこう玄武   |



競技の様子①



競技の様子②



競技の様子③

【大会の所感】

新型コロナウイルス感染症の影響で、例年とは異なる開催方法であったが、各校それぞれが制限時間3分間の時間の中で、製作したロボットの能力を十分に発揮させた。操縦モード時の操作を正確に行い、自立モード時の制御を最適に行う「高度な技術力」。

無観客で開催したため、驚くような独創的なアイデアなど、ロボットの繊細さと発想力の豊かさを多くの方々に見せられなかったのは残念である。

岩手県産業教育振興会の多大なる御支援と会場校の福岡工業高等学校の教職員の皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます

## 工業：大会運営(ものづくり東北大会木材加工部門)

岩手県立水沢工業高等学校

【大会名】 高校生ものづくりコンテスト2021東北大会（岩手大会）木材加工部門  
【日時】 令和3年8月4日（水）～ 8月5日（木）  
【会場】 胆江地域職業訓練センター（奥州市水沢真城字中上野96-3）

### 【大会概要】

- 1 目的 建築に係わる木材加工を通じて、工業高校生の技術・技能の向上を図るとともに、ものづくりに対する意欲・関心を高め、技能労働者の育成と工業教育発展に資する。

#### （1）競技部門 木材加工部門

第21回高校生ものづくりコンテスト全国大会木材加工部門の課題に準ずる。

競技Ⅰ：現寸図作成、競技Ⅱ：課題製作

#### （2）参加者数 各県代表者6名、開催県特別枠（岩手県）1名、合計7名

|     |     |        |                |
|-----|-----|--------|----------------|
| 氏名等 | 青森県 | 岡田 香那美 | （県立八戸工業高校3年 女） |
|     | 宮城県 | 渡邊 金太郎 | （市立仙台工業高校2年 男） |
|     | 山形県 | 大場 裕斗  | （県立山形工業高校3年 男） |
|     | 秋田県 | 小松 翠   | （県立秋田工業高校3年 女） |
|     | 福島県 | 菊地 和真  | （県立福島工業高校3年 男） |
|     | 岩手県 | 大矢 陸斗  | （県立久慈工業高校3年 男） |
|     | 岩手県 | 井上 奈々  | （県立盛岡工業高校3年 女） |

#### （3）入賞者数 上位3名

|     |     |     |        |            |
|-----|-----|-----|--------|------------|
| 氏名等 | 第1位 | 宮城県 | 渡邊 金太郎 | （市立仙台工業高校） |
|     | 第2位 | 山形県 | 大場 裕斗  | （県立山形工業高校） |
|     | 第3位 | 福島県 | 菊地 和真  | （県立福島工業高校） |

### 【写真】



大会風景〔競技Ⅱ 加工作業〕



大会風景〔入賞者と参加者〕

### 【大会の感想等】

競技Ⅱ（3時間）は、参加者7名のうち5名が時間内に完成した。本県代表者2名は制限時間内に完成できず、審査対象外という残念な結果に終わりました。優勝した宮城県代表の渡邊選手は、令和3年11月13日～14日に神奈川県で開催される全国大会に東北ブロック代表として出場します。

## 工業：大会参加(ものづくり東北大会)

岩手県立黒沢尻工業高等学校

【大会名】 高校生ものづくりコンテスト2021東北大会（旋盤作業部門）

【日時】 令和3年 8月 4日（水）～6日（金）

【場所】 山形県立村山産業高等学校

【大会概要】 東北地区工業高校生の技術・技能の向上と相互理解を図る。  
高校生ものづくりコンテスト2021全国大会の選手選考を兼ねる。

### （1）旋盤作業部門

学科課題は30分間で25問解答。加工課題は旋盤を使用して、当日抽選の寸法を含めた部品2個を2時間以内に加工する。

### （2）参加者数7名

|               |       |
|---------------|-------|
| 青森県立十和田工業高等学校 | 下河原康平 |
| 岩手県立黒沢尻工業高等学校 | 菊池 歩夢 |
| 宮城県工業高等学校     | 末永 航介 |
| 秋田県立秋田工業高等学校  | 小玉 一晟 |
| 山形県立長井工業高等学校  | 高橋 涼  |
| 山形県立酒田光陵高等学校  | 菅原 光喜 |
| 福島県立郡山北工業高等学校 | 渡辺 竜司 |

### （3）大会結果

|     |               |       |
|-----|---------------|-------|
| 第1位 | 宮城県工業高等学校     | 末永 航介 |
| 第2位 | 山形県立長井工業高等学校  | 高橋 涼  |
| 第3位 | 福島県立郡山北工業高等学校 | 渡辺 竜司 |

## 【写真】



## 【感想】

昨年度に続き、学科課題と加工課題が行われ、その合計点で順位を決定するというものでした。加工課題は今回8箇所の寸法を当日に発表して、加工競技が行われました。

競技結果は第4位という結果でした。加工課題自体は上位に入賞できるレベルでしたが学科課題で得点を取ることが出来ず、このような結果になりました。

今後学科課題が実施されるか分かりませんが、設定されるのであればその対応にも重点を置かなければならないと思いました。

工業：大会参加(ものづくり東北大会)

岩手県立福岡工業高等学校

【大会名】 高校生ものづくりコンテスト2021東北大会(福島大会) 電気工事部門

【日時】 令和3年8月5日(木)～8月6日(金)

【場所】 福島県立郡山北工業高等学校

【大会概要】

全国大会の目的に沿い、東北地区工業高校生の技術・技能の向上と相互交流を図る。  
また、高校生ものづくりコンテスト全国大会の選考を兼ねる。

約1.8m四方の垂直パネルに、「競技規則」に従い、「施工図」、および「施工条件」  
に示す電気配線工事を行う。公表されている令和3年度第一種及び第二種電気工事士技  
能問題を参考にして競技課題とし、「金属管工事」、「P F 管工事」および「ケーブル工事」  
を行う。

【写真】



【競技の様子】



【表彰式】

【引率者の感想等】

生徒は日頃の練習、準備の成果を十分発揮し頑張ってくれた。簡易的なミスが響き、  
結果は惜しくも2位であったが大健闘であった。まだ2年生であり、来年もあるので、  
今後は優勝を狙って活動していきたい。

【事業名】 福工生による中学校への出前授業

【日時】 令和3年7月9日（金）、7月13日（火）、7月16日（金）

【場所】 二戸市内の3中学校（福岡、浄法寺、金田一）

【事業概要】

キャリア教育の一環として、中高が連携し、高校生による出前授業によって、自ら知識理解を深め、表現力を高めるとともに、中学生が体験的活動を通じて工業の専門教科を学び、地元の工業高校に対して理解を深める。

中学生のクラスをテーブルごとに数班に分け、福工生が原理・作業手順などの説明を行い、中学生に制作体験をしてもらう。

(1) 機械システム科生徒による文鎮の製作（20分）

真鍮材料の六角棒にタップによるねじ切りを施し、つまみ（市販のねじ）を組み立てる。棒の大きさは約φ15×100。下穴はあらかじめ加工しておく。

ねじ切り加工の前後にピカールによる研磨を施す。ものづくりの基本を学習する。

(2) 電気情報システム科生徒による手作りモータの製作（20分）

電線を巻くことによってコイル(モータ)を製作し、電池を使ってコイル(モータ)を回転させる。モータの原理をわかりやすく学習する。

【写真】



【文鎮製作】



【モータ製作】

【引率者の感想等】

生徒達が様々な工夫を凝らしながら主体的に教える体験学習は、普段の授業ではできない取組であり、コミュニケーションの取り方、準備することの大切さを知ることにもつながり、1人ひとりの成長を感じ取ることができた。

また、中学生も意欲的に取り組み、学科の特色を理解していただく良い機会となった。

【事業名】 中学校への出前授業

【日時】 令和3年10月～11月

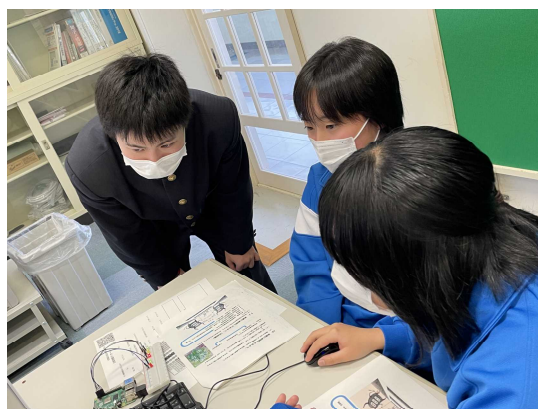
【事業概要】

各中学校ではプログラミングの必修化がはじまり、担当する教員が授業内容や指導方法に苦慮していると聞いていた。そこで本校生徒が授業で学んでいる技術を中学校へ出向き指導することで、プログラミング授業の参考になるのではないかと考え実施した。

○実施中学校

- |                |       |            |
|----------------|-------|------------|
| (1) 久慈市立夏井中学校  | 生徒15名 | (10月7日実施)  |
| (2) 野田村立野田中学校  | 生徒32名 | (10月18日実施) |
| (3) 普代村立普代中学校  | 生徒14名 | (11月9日実施)  |
| (4) 久慈市立大川目中学校 | 生徒13名 | (11月19日実施) |

【写真】



【事業運営者感想】

今回の事業を通じてプログラミング教育の内容や指導に苦慮する中学校教員の苦労が伺えた。また、技術の教員がいない中学校ではより指導の敷居が高く、未だに取り組めていない中学校もあること知った。終了後のアンケートでは、ほとんどの中学生が工業技術に興味を持てたと回答してくれた。この事業を通じて、本科の実習内容の紹介にもつながり、また、高校生徒とのふれあいから、より工業高校に興味を持ってもらえる良い機会になった。

## 工業：出前授業

岩手県立盛岡工業高等学校

【事業名】 工業化学科出前授業

【日時場所】 令和3年10月1日（金）

煙山小学校(科学クラブ30名)

令和3年10月22日(金)・11月12日(金) 矢巾東小学校(科学クラブ21人)

実施予定（未定）

飯岡小学校（4年生・2クラス）

【事業内容】 液体窒素を使った実験の体験・ペットボトルを使った石鹼づくり

小学生に実験の指導をする高校3年生(8名)に対し、材料と器具等の確認および予備実験を行うことでスムーズに実験が進むように準備した。

当日は各テーブルに実験器具を配置し、小学生を4～5人を1グループとし、5班に分けて実施した。高校3年生を各テーブルに配置し、液体窒素の説明をして全体に演示実験をした後、それぞれ説明をしながらライデンフロスト効果などの液体窒素に触れる実験や、空気から液体になった酸素を取り出す実験を各テーブルごとに行った。

液体窒素は取り扱いに注意が必要なため、安全や取り扱いには十分に配慮した。液体窒素を使い酸素を取り出す実験で、酸素が線香を激しく燃焼させる様子を見て小学生から大きな歓声があがった。

また、今回は矢巾東小学校で出前授業を2回実施し、ペットボトルを使った石鹼づくりを行った。水酸化ナトリウム水溶液は取り扱いに注意が必要なので、手袋をつけて慎重に取り分けを行った。ペットボトルを激しく振るので、油と水酸化ナトリウム水溶液がペットボトルから漏れないよう、熱収縮チューブでさらにふたを固定し、安全に反応が起こるように配慮した。

### 【写真】



実験が始まる前の小学生の様子



実験で凍ったもやしを手で砕く様子



事前の説明を真剣に聞く様子

## 工業：出前授業

新型コロナ感染拡大の影響で、例年より少ない2校で3回の実施となった。残りの1校（2回の実施）については今後の状況を見て可能な限り実施したい。小学生は普段テレビや教科書でしか教わらない液体窒素の実験を、直接触ったり目の前で自分たちの手で実験することができ、化学の面白さに興味を持ってくれたと感じた。今回説明をした高校3年生は普段の「教わる側」から、「教える側」になることで教えることの難しさを実感しながらも、コミュニケーションスキルを養う絶好の機会だったと思う。

また、今回行った石鹼づくりでは、高校生が手伝いながら、小学生が取り分けを行った。取り分けてふたを固定したあとのペットボトルを振る作業では、小学生がとても楽しそうにしている、ペットボトルの中身が白色のポタージュ状の液体になっていく様子に驚いていた。



自分たちの手で薬品を取り分けする小学生



ドライヤーと熱収縮チューブを使いペット  
ボトルのふたを固定している様子



原料を入れたペットボトルを振って  
石鹼を作っている様子

- 【事業名】 小中学校出前授業（エネルギー環境教育・ILC）  
【日時】 令和3年4月28日（水）～令和4年2月4日（金）  
【場所】 一関工業高等学校・萩荘市民センター・萩荘小・舞川小・萩荘中  
【概要】

1 テーマと内容

活動は、週2時間の課題研究の時間で実施した。本校では、令和元年度から地域の小学校と子供会で理科学習教室や工作教室を展開してきた。令和2年度から正式に「技術・知識を地域につなげるプロジェクト」として学校全体で取り組んでいる。内容は主に3つである。

- (1) 地域活動（萩荘DEマルシェ）：萩荘地域を盛り上げる。
- (2) 理科教室・サイエンスショー：萩荘DEマルシェの経験を生かして、子供たちに理科の楽しさを知ってもらう。
- (3) 出前授業：理科の授業内容に沿った実験を中心とした授業を展開する。
  - ・小学校4年生（直並列回路）小学校5年生（電磁石）
  - ・小学校6年生（エネルギー・プログラミング）
  - ・中学校2年生（プログラミング、電磁誘導）
  - ・中学校3年生[エネルギー、放射線]

2 参加生徒数

- (1) 本校生徒 電気科8名 電子科7名 計15名
- (2) 中学生76名 小学生60名 計136名
- (3) 地域住民 約3,000名（イベントの参加者数）

3 スケジュール

- 4月 SDGs講演
- 5月 地域との打合せ
- 6月 萩荘DEマルシェ
- 7月 半導体セミナー、  
赤萩小理科実験
- 8月 サイエンスショー
- 11月 ILC講習会
- 12月 出前授業(小・中学)
- 1月 理科実験、出前授業(中学)

正しい知識を学ぶ

スケジュール

生徒が、教える側になるために必要なスキルである正しい知識と意欲の向上を図る。

そのために、専門知識豊かな大学の先生方や大学院生の協力を得て、学習を深めた。

4 取り組みの成果

この活動は、地域や大学などの県、市、教育関係者との連携により、生徒が自らの力で様々なことを経験し、「気付き」を得たことである。その「気付き」が自己の形成に大切な知識と自信、意欲を与えてくれたと思われます。はじめはどうなるか不安でしたが、始まってしまえば、楽しい時間を過ごすことができました。



- 【事業名】 技術・知識を地域につなげるプロジェクト  
【日時】 令和3年4月28日（水）～令和4年2月4日（金）  
【場所】 岩手県立一関工業高等学校  
【事業概要】

一関工業高校3年生が、自分達の知識・技術を用い、それぞれの地域にある解決策が見えない「未知の課題」に対峙するプロセスを通して、「高校で培った知識・技術の意味付け」を行い、さらにより自分らしい未来を切り開いていくための「探究する力」「価値を創造する力」を高めることを目的とする。具体的には、3地区に分かれて各学科1地区を担当、活動は週2時間の課題研究の時間で、実施地域とつながりながら各地域の課題解決（誰かを幸せにする）プロジェクトに取り組む。

## 1 テーマと内容

- (1) 萩荘地区：萩荘地域を盛り上げるため地域活動に参加  
地域活動：萩荘地域の活性化（萩荘DEマルシェ、理科教室、サイエンスショー）  
出前授業：理科の授業を教科書に沿った内容で展開  
(2) 中里地区：地区の子供会活動（ロボット製作）  
(3) 巖美地区：地域にある山谷分館を活用し、震災を後世に伝える空間を作る。

## 2 参加生徒数

電気科8名、電子科7名、電子機械科4名、土木科3名 合計22名

## 3 スケジュール

講義 4月28日(水) 「SDGsの説明、プロジェクトの進め方・取り組み方」

各地域での活動

- 5月14日 第1回ワークショップ「生徒と地域の皆さんとの顔合わせ・役割分担」  
6月25日 第2回ワークショップ「テーマの決定、企画書の作成」  
8月26日 第3回ワークショップ「テーマの確認・修正点」

11月25日(木) 「中間報告及び事業成果を出すためのブラッシュアップ」

2月4日(木) 「プロジェクト成果報告会」



## 4 取組の成果

この活動は、地域や大学などの県、市、教育関係者との連携により、生徒たちが自らの活動の中で様々な経験により「気づき」を得たことです。その「気づき」が自己の形成に大切な知識と自信、意欲を与えてくれたと思われます。はじめは、どうなるか不安でしたが、始まってしまえば、楽しく時間を過ごすことができました。最後にこの活動に係わる多くの方に感謝します。



## 工業：実技講習会(第2種電気工事士)

岩手県立一関工業高等学校

【事業名】 第2種電気工事士講習会

【日時】 令和3年4月12日(月)～令和3年7月16日(金)

【場所】 岩手県立一関工業高等学校

### 【事業概要】

#### 1 テーマと内容

現在の工事業界の情勢を踏まえた電気工事業界の方に、電気工事の講習を実施していただくことで、より生徒の興味・関心を高め、専門分野における知識・技術を深化させるとともに、望ましい勤労観・職業観を育成する。

また、高いレベルでの実技・技術を知ること、正しい知識と技術を習得し、専門高校生としての資格取得につなげる。

#### 2 参加生徒数

電気電子科2年39名、電気電子科1年34名 計 73名

講師 地元電気工事業工業組合 13名、

株式会社きんでん 2名

技能五輪全国大会金メダリスト、韓国大会五輪銅メダリスト

#### 3 スケジュール

4月～6月

筆記試験講習 毎日

5月17日(月)

地元電気工事組合 工事士講習

6月17日(木)～7月16日(金)

技能講習会 毎日

1月20日(木)

オンライン講習会

#### 4 取組の成果

最新の知識・技能を企業の方々から指導して頂くことで、生徒は意欲的に取り組み、普段以上に集中して取り組んでいた。また、実習で学んでも直接指導されることで多くの気づきを得たようである。

実際、日常の講習会では、学んだことを生かし、積極的に取り組む姿が印象的であった。試験は、2年生のみが受験し合格率が97%と成果につながった。



## 工業：実技講習会(第2種電気工事士)

岩手県立岩谷堂高等学校

【事業名】 第二種電気工事士の資格取得のための講習会

【日時】 令和4年2月17日(木)

【場所】 岩谷堂高等学校 産業工学実習室

【事業概要】 講師を招いて電気の基礎や第二種電気工事士の資格取得のための指導を仰ぐ。  
学習内容は電気工事士として必要とされる基礎的な知識の習得。

(1) 講師 北上川流域ものづくりネットワークより講師派遣(県南広域振興局)  
協栄電工(株) 千田 新一 様

(2) 参加者 総合学科(産業工学系列)2年次10名

【写真】



講習の様子①



講習の様子②



講習の様子③



講習の様子④

【事業運営者感想】

今年度初めて、第二種電気工事士の資格を取得させるため、岩手県産業教育振興会や北上川流域ものづくりネットワークのご協力を得て講習会を開催することができ、大変有難かった。

生徒にとっては、電気の知識がほとんど無い中であつたが、電気工事士の資格を取得することによって自分の進路の幅を広げられることを理解できた講習会となった。

今回の講義をきっかけに一人でも多く電気工事士の資格を取得できるよう更に指導していきたい。

【事業名】 第1種電気工事実技講習会」

【日時】 令和3年10月11日(月)～令和3年12月11日(土)

【場所】 岩手県立一関工業高等学校

【事業概要】

1 テーマと内容

現在の工事業界の情勢を踏まえた電気工事業界の方に、電気工事の講習を実施していただくことで、より生徒の興味・関心を高め、専門分野における知識・技術を深化させる共に、望ましい勤労観・職業観を育成する。

また、高いレベルでの実技・技術を知ること、正しい知識と技術を習得し、専門高校生としての資格取得につなげる。

2 参加生徒数

電気電子科2年 39名

講師 地元電気工事業工業組合 8名

3 スケジュール

7月～10月

筆記試験講習 毎日

7月7日(水)

地元電気工事業工業組合 工事士講習

10月11日(月)～12月11日(土) 技能講習会 毎日

4 取組の成果

最新の知識・技能を企業の方々から指導していただくことで、生徒は意欲的に取り組み、普段以上に集中して取り組んでいた。また、実習で学んでも直接指導されることで多くの気づきを得たようである。

実際、日常の講習会では、学んだことを生かし、積極的に取り組む姿が印象的であった。

試験は2年生の希望者のみが受験したが合格率が67%の成果につながった。



## 工業：実技講習会(電子機器組立 3 級)

岩手県立釜石商工高等学校

- 【事業名】 外部講師による生徒を対象とした実技講習会  
技能検定『電子機器組立て 3 級』
- 【日時】 令和 3 年 1 月 11 日 (火) 本校実習室
- 【対象生徒】 本校電気電子科 1, 2 年生の受検者 11 名
- 【指導担当】 本校電気電子科 教諭 小野寺 一也
- 【講師】 株式会社ワイ・デー・ケー東北工場様より 2 名派遣
- 【講師派遣】 沿岸広域振興局 ものづくり人材育成コーディネータ 担当者
- 【事業概要】 有資格者の外部講師から受検者へ直接指導・アドバイスを頂ける貴重な  
機会、技能のレベルアップを図り、検定の合格率向上につなげる。

### ※作業上の注意点

- ・ 検定標準時間 90 分 (延長 30 分) 以内に組立て終わるように各作業工程の時間配分を気にかけて作業すること。
- ・ 整理整頓しながら作業すること。

### 【写真】



## 工業：実技講習会(電子機器組立 3 級)

### 【生徒または指導者の感想やアドバイス】

#### ▼生徒の感想

- ・チップ部品の取り付けで手が震えてしまい、チップ部品をしっかりと固定できずハンダ付け作業が上手くいきませんでした。外部講師の方から「手首を固定すると、手が振るえにくいよ。」とアドバイスをいただき、スムーズに作業をできるようになりました。
- ・基本的作業がまだ身についていないとき、「5 Sを意識して作業するように。」とご指導いただいたことで、作業時間の短縮につながり、作業機の乱雑さも改善されました。
- ・「努力は必ず報われるから、今は全力で頑張ってみて」とおっしゃっていただき勇気がでたし、モチベーションが上がりました。
- ・手を動かすスピードや道具の整理を意識することを教わって「時間を意識した作業」を心掛けた結果、作業時間の短縮につながりました。
- ・無駄な作業をしていたことを指摘していただき、作業時間の短縮に繋がりました。

#### ▼指導担当の感想

- ・外部講師の豊富な経験からの技能や知識に関するアドバイスが参考になりました。応用可能なものはすぐに取り入れて、今後の指導に生かします。
- ・1人で11人の生徒を指導し、全員を同じレベルに持って行くことは限られた時間では難しいものがありますが、この度外部講師の方々にご指導頂いたことにより、私が今まで指導してきたことがよりいっそう生徒に伝わって理解が深まり、レベルの底上げを図ることが出来たと感じています。生徒側から見れば、新しい発見や気づきにより理解が深まったとも言えます。

#### ▼外部指導者の感想やアドバイス

- ・「努力は必ず報われるから、今は全力で頑張ってみて」「全員で合格しましょう」。
  - ・今回はほとんどの人がスムーズな作業ができています。合格の条件としてまずは時間内に組み上げ、動作する事が第一条件ですので、残り時間を考えて作業すると良いと思いました。完成まであきらめないで頑張ってください。
- 全員合格の吉報をお待ちしております。

## 工業：実技講習会(情報配線施工技能試験)

岩手県立花北青雲高等学校

【事業名】 令和3年度情報配線施工技能検定実技講習会

【日時】 令和4年1月15日(土) 9:00～16:00

【場所】 岩手県立花北青雲高等学校 工家棟2階 CAD実習室

【事業概要】 外部講師による出前授業を通して、情報配線施工検定3級に関する基礎的な知識と技術を習得することにより、通信技術産業の意義や役割を理解し、職業観や勤労観を育てることを目的とします。

### (1) 講習会内容

学科試験、実技ペーパー試験(メタルケーブル)及び、実技試験(光ファイバー収納)について座学と実技を交え実施。

### (2) 参加者数

本校生徒情報工学科2年生 29名

### (3) 参加者の様子・感想等

感染症対策を施してリモートでの実施となりましたが、講師の説明に対しポイントを資料に熱心に書き込む生徒の姿が多く見られました。実技試験対策として、ビデオを見ながら光ファイバーケーブルの収納について学習し、多くの生徒が理解することができました。

## 【写真】



## 【感想等】

令和元年度から本校で情報配線施工技能検定の実施が決定し、本学科2年生全員受験となりました。検定試験に向けて今回の講習会では、学科試験対策に加えて実技試験のポイントなど、講師の方にわかりやすく講義を頂きました。

## 商業：大会参加(全国大会簿記競技)

岩手県立宮古商工高等学校

【大会名】 令和3年度第37回全国高等学校簿記競技大会

【日時】 令和3年7月18日(日)

【開催場所】 関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

【大会概要】 簿記の振興を図り、商業教育の発展に寄与するものである。

- (1) 参加生徒
- |         |       |
|---------|-------|
| 商業科3年   | 大城 輝  |
| 商業科3年   | 鈴木愛梨沙 |
| 流通経済科3年 | 畠山 大樹 |

### (2) 大会成績

|               |     |                 |      |
|---------------|-----|-----------------|------|
| ○団体総合競技(47校)  | 優勝  | 滋賀県立八幡商業高等学校    | 530点 |
|               | 準優勝 | 静岡県立浜松商業高等学校    | 506点 |
|               | 第3位 | 滋賀県立八幡商業高等学校    | 488点 |
| ○個人総合競技(232名) | 優勝  | 競技番号125 久留米商業高校 | 192点 |
|               | 第2等 | 競技番号221 浜松商業高校  | 180点 |
|               | 第3等 | 競技番号225 八幡商業高校  | 179点 |

### ○宮古商工高校生徒成績

団体47校参加中第9位 28年ぶりの岩手県勢の団体入賞

個人232名参加中

|       |      |     |    |
|-------|------|-----|----|
| 鈴木愛梨沙 | 144点 | 19位 | 佳良 |
| 大城 輝  | 124点 | 40位 |    |
| 畠山 大樹 | 112点 | 53位 |    |

## 【写真】



競技開会式



競技大会会場入口

## 【感想】

コロナ禍の中、団体47校、個人232名の参加で大会が実施されました。県大会団体優勝後、全国大会に向けさらに厳しい練習に励み全国大会に臨みました。今まで全国の高い壁に沮まれ、なかなか団体で入賞が達成できない岩手県勢でしたが、今回団体9位と岩手県勢として28年ぶりの団体入賞であり、個人では1名佳良賞を受賞しました。輝かしい成績を受賞し、宮古商工高等学校の新たな歴史も刻むことができました。今後は全国大会団体3位以内入賞と高い目標を立て、目標達成に向け日夜勉学に励んでいきます。

商業：大会参加(全国大会簿記競技)

岩手県立水沢商業高等学校

【事業名】 令和3年度第37回全国高等学校簿記競技大会

【日時】 令和3年7月18日（日）

【場所】 兵庫県神戸市 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス

【事業内容】 商業教育の一層の充実と振興を図り、簿記における記帳技術・計算能力の向上を図るものである。

(1) 競技部門 個人の部 出場

(2) 参加者（235名出場） 本校参加者 2年 持田 はるか（1名）

(3) 成績 第64位

（第1部71点 第2部35点 計106点）

【写真】



（会場立て看板前）



（開会式会場）

※競技会場内には入室できないため、看板前・開会式会場の写真となりました。

【感想】

一昨年前は、団体の部で出場しましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い全ての大会が中止となりました。そして、今年度から県大会1位の学校のみ団体の部の出場となり、本校は個人の部で出場しました。2年生の出場となり他校よりも学習進度が足りない状態でしたが、記帳技術を問う第1部では、しっかりと点数を取ることができ、来年に繋がる大会となりました。

今後は、今年度の宮古商工高等学校のように全国の舞台で活躍できるように日々の練習を大事にしたいと思います。また、簿記を通して得た知識・技術が今後の生徒の生涯に渡り有益となるような実践的な指導も目指していきたいと思っています。

商業：大会参加(全国大会簿記競技)

岩手県立盛岡商業高等学校

【大会名】 令和3年度 第37回全国高等学校簿記競技大会

【日時】 令和3年7月18日（日）

【場所】 兵庫県 関西学院大学（西宮上ヶ原キャンパス）

【大会概要】

- （1）競技 第1部（45分） 第2部（45分）
- （2）参加者 団体47校 個人232名
- （3）大会成績 個人成績 藤岡 寛人 116点 46位／232名

【写真】



【生徒または引率者、大会運営主務者の感想等】

本県代表として個人の部に出場し、第46位の成績を収めることができました。結果として、6月に行われた県予選より20点以上点数を上げることができ、全国大会に向け学習を積み重ねた成果を発揮することができたと思います。

次年度は、今年度達成することができなかった団体での全国大会出場を目指し、継続して学習に取り組みたいです。全国大会出場を通じて、次年度に向けての自分自身の課題を見つけることができ、大変貴重な機会となりました。この度は大会出場に関わる助成をしていただきありがとうございました。

商業：大会参加(全国大会情報処理競技)

岩手県立盛岡商業高等学校

【大会名】 令和3年度 第33回全国高等学校情報処理競技大会

【日時】 令和3年7月25日（日）

【場所】 広島県 広島市立大学

【大会概要】

(1) 競技

第1部（40分） 第2部（40分）

(2) 参加者 団体45校 個人222名

(3) 大会成績

団体の部 第10位入賞（本校として団体入賞は3年ぶり通算7回目）

個人の部 第13位 佳良賞 小野寺悠真（2年）

【写真】



【生徒または引率者、大会運営主務者の感想等】

本県の団体代表校として正選手3名、補欠1名の生徒を引率し大会に出場してきました。結果は団体の部で第10位に入賞、個人は第13位に入賞し、大変素晴らしい成績を収めてくれました。正選手3名のうち2名が2年生であり、当初は苦戦すると予想していましたが、その2年生が大いに健闘してくれました。2年生は来年度の大会に向け期待し、また生徒とともに頑張っていきたいと思います。

この度は、助成いただき大変ありがとうございました。

商業：大会参加(全国大会情報処理競技)

岩手県立水沢商業高等学校

【事業名】 令和3年度第33回全国高等学校情報処理競技大会

【日時】 令和3年7月25日（日）

【場所】 広島県広島市 広島市立大学

【事業内容】 情報処理教育の振興を図る事業の一環として実施するものである。

（1）競技部門 個人の部 出場

（2）参加者 個人の部 222名出場

本校参加者 3年 千葉 陽仁（1名）

（3）成績 第91位（第1部43点 第2部40点 計83点）

【写真】



（会場立て看板前）



（開会式会場）

※競技会場内には入室できないため、看板前・開会式会場の写真となりました。

【生徒または引率者、大会運営主務者の感想等】

一昨年前も、個人の部で出場しましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い全ての大会が中止となりました。そして、今年度もまた本校は個人の部で出場しました。

今年の問題はⅠ部の関連知識とデータベースの難易度が高く、思うように得点をあげることができませんでした。Ⅱ部の表計算とアルゴリズムでは総合得点で上位に入賞した選手と同等またはそれ以上の点数をあげることができました。

今後は、今年度の盛岡商業高等学校のように全国の舞台で活躍できるように日々の練習を大事にしたいと思います。また、情報処理学習を通して得た知識・技術が今後の生徒の生涯に渡り有益となるような実践的な指導も目指していきたいと思っています。

商業：大会参加(全国大会情報処理競技)

岩手県立花北青雲高等学校

【大会名】 令和3年度 第33回全国高等学校情報処理競技大会

【日時】 令和3年7月25日（日）

【場所】 広島市立大学

【大会概要】 情報処理教育の振興を図る事業の一環として

(1) 出題範囲

全商情報処理検定試験1級程度の出題範囲とし、出題は次の2部門に分ける。

I部 関連用語とデータベース（100点） ※最近普及している語を含む

II部 表計算とアルゴリズム（100点）

(2) 参加者数ならびに自校参加者

全国222名 自校参加生徒3年ビジネス情報科 平 彩斗

(3) 個人結果

I部 50点／100点 II部 12点／100点 個人得点 62点／200点

個人順位 156位／222名

【写真】



大会看板前にて



開会式

※ 参加生徒：観客席一列目左から1番目

【感想等】

県産業教育振興会から交通費の助成を頂きました。参加生徒の旅費負担を減らすことができ、とても助かりました。感謝申し上げます。

参加生徒は、花北青雲高等学校ビジネス情報科の代表として、岩手県の代表として大会に参加してきました。I部はある程度得点を取ることができましたが、II部は難しくかなり苦戦したようでした。選手は精一杯取り組んだこともあり、結果を素直に受け入れています。

大会参加者同様、第II部で苦戦することが多い後輩に対して、参加した選手が取り組み、感じたことを後輩に伝えていき、今後の活動に生かしていきたいと考えています。

商業：大会参加(全国大会ワープロ競技)

岩手県立水沢商業高等学校

【大会名】 令和3年度第68回全国高等学校ワープロ競技大会

【日時】 令和3年8月4日(水)

【場所】 愛知県名古屋市中企業振興会ホール

【大会概要】 情報教育の振興を図る事業の一環として実施する

(1) 競技部門 団体の部 出場

(2) 参加者数 2名

菅原祐一郎 高橋慎人

(3) 結果 団体の部 36位

個人の部 菅原祐一郎 35位 1,677字

高橋慎人 96位 1,442字

【写真】



(大会会場前にて)

【感想】

令和元年度に開催された全国大会で、本校のチームは団体10位に入賞しました。その結果から、翌年の令和2年度全国大会では岩手県の団体出場枠が2枠になると選手と大いに喜びました。その翌年、まさか新型コロナウイルスの影響で全国大会が中止となるとは思いませんでした。

去年の3年生は全国大会出場の目標を掲げて練習に励んできましたが、その夢を実現することなく引退しました。その姿を知っている今年の3年生は先輩の悔しい思いを忘れず競技を頑張ってきたいと名古屋に向かいました。会場はマスクの着用、キーボード・机の消毒、出入口の検温等、新型コロナウイルス感染予防対策がされ、いつも以上に緊張感を感じました。大会は時間通りに行われましたが閉会式・表彰式もなく、競技後すぐに閉会となり大会結果は岩手で待つことになりました。残念ながら、本校は入賞することはできませんでした。個人それぞれの結果をみると、菅原8エラー、高橋9エラーと普段以上にエラー数が多かったです。選手からも「こんなにエラーが出てしまったのか」と残念そうでしたが、最後は全国大会に参加することができて良かったと安心していただけました。2人の結果から、タイピングミスを減らすために、キーボードでの指の位置や運指の見直し、ミスした時に早くなおす能力を高めることに時間をかけて練習したいと思います。

全国大会に向けて多くの声援やサポートがあり、今大会に出場することができました。本当にありがとうございました。感謝の気持ちを忘れずに、全国大会に向けて情熱を切らずに挑戦していきたいと思っています。

商業：大会参加(全国大会ワープロ競技)

岩手県立花北青雲高等学校

【大会名】 令和3年度第68回全国高等学校ワープロ競技大会

【日時】 令和3年8月4日（水）

【場所】 名古屋市中小企業振興会館

【大会概要】 商業に関する知識や技術・技能を高める。

（1）競技部門及びその内容

速度競技（制限時間10分間）

（2）参加者数・氏名

出場校（団体）47校 出場選手（団体＋個人）228名

花北青雲高校 ビジネス情報科 平 彩斗（個人出場）

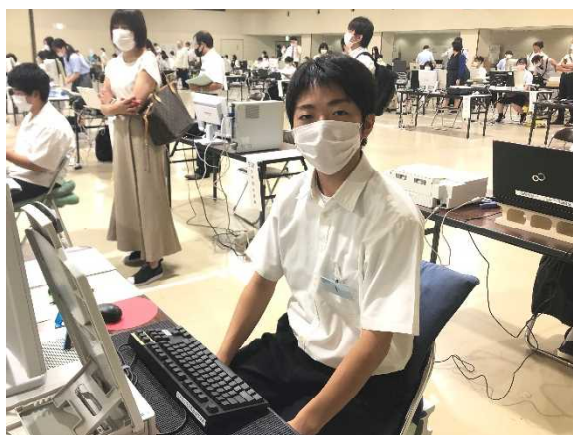
（3）入賞者数・氏名

佳良賞（第25位） 平 彩斗 1,759字

【写真】



（大会会場）



（競技開始前）

【感想】

4大会連続で個人での全国大会出場となりました。3人で打ち繫いでいく団体での出場とは違い、個人では打数を伸ばすことが難しくなるため、いかにミスを少なくするかということに力を入れて練習に取り組んで参りました。コロナ禍において大会や練習会が少なく練習不足の部分もありましたが、気持ちを切らすことなく地道に練習を重ねたことで技術を高めることができました。

大会前日での練習では、全国トップレベル選手の技術を目の当たりにして気持ちが落ち込んでしまうこともありましたが、本番では機械トラブルもなく落ち着いて競技に臨むことができました。結果は佳良賞に入賞し、岩手県出場者の中では1位を獲ることができ、満足したものとなりました。これらのことが後輩たちの刺激になり、先輩を超えようという目標にもなったようです。全国大会出場にあたり、多くの方々の御支援と御協力を頂いたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

商業：大会参加(全国大会ワープロ競技)

岩手県立盛岡商業高等学校

【大会名】 令和3年度 第69回全国高等学校ワープロ競技大会

【日時】 令和3年8月4日（水）

【場所】 愛知県 名古屋市中企業振興会館

【大会概要】

- |         |       |                    |
|---------|-------|--------------------|
| (1) 競技  | 速度競技  | 制限時間10分            |
| (2) 参加者 | 団体47校 | 個人228名             |
| (3) 成績  | 個人成績  | 川村 政汰 1,345字（119位） |

【写真】



【生徒または引率者、大会運営主務者の感想等】

個人代表としての出場でしたが、仲間と共に練習をし、全国大会に参加してきました。コロナ禍で他校との交流がなかなかできなかったため、全国から集まった選手と共に競技できたことは貴重な経験となりました。

今回、自分のベストを出すことはできませんでしたが、来年度へ向けて意欲が高まり、今後は仲間と共に目標をもって頑張りたいと思います。

水産：全国水産校等学校実習船運営協力研究協議会

岩手県立宮古水産高等学校

【大会名】 第68回全国水産高等学校実習船運営協力研究協議会

【日時】 令和3年10月3日（水）～10月15日（金）

【場所】 盛岡市 アートホテル盛岡

【大会概要】

水産・海洋系高等学校の実習船運営に関する諸課題について関係各省庁との連絡調整を図るとともに各都道府県教育委員会及び各水産・海洋系高等学校における研究と協議により実習船教育の充実と振興を目指し毎年開催されている研究協議会の開催を岩手県産業教育振興会として後援した。

【参加者】 参集型・オンライン型 合計で約120人

## 令和3年度第68回全国水産高等学校実習船運営協会研究協議会実施要項

### 1 目的

水産・海洋系高等学校の実習船運営に関する諸課題について関係各省庁との連絡調整を図るとともに、各都道府県教育委員会及び各水産・海洋系高等学校における研究と協議により実習船教育の充実と振興を図る。

### 2 主催

全国水産高等学校実習船運営協会 [事務局 北海道小樽水産高等学校]

### 3 主管

岩手県立宮古水産高等学校

### 4 後援（予定）

|                      |               |              |
|----------------------|---------------|--------------|
| 全国水産高等学校長協会          | 全国高等学校水産教育研究会 | 岩手県教育委員会     |
| 岩手県高等学校長協会           | 岩手県産業教育振興会    | 岩手県漁業協同組合連合会 |
| 公益財団法人日本教育公務員弘済会岩手支部 |               |              |

### 5 参加者

全国水産・海洋系高等学校における実習船運営関係者  
全国都道府県教育委員会における実習船担当者 (合計約 120 名の見込)

### 6 来賓（予定）

文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室助成係長  
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官  
（兼）文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室教科調査官  
農林水産省水産庁増殖推進部  
農林水産省水産庁資源管理部  
国立研究開発法人水産研究・教育機構国際水産資源研究所  
公益財団法人産業教育振興中央会  
一般社団法人大日本水産会  
全国漁業協同組合連合会  
日本かつお・まぐろ漁業協同組合  
公益財団法人日本無線協会  
岩手県漁業協同組合連合会  
岩手県教育委員会教育長  
岩手県高等学校長協会会長  
全国水産高等学校長協会理事長  
全国高等学校水産教育研究会会長

### 7 会場

#### (1) 出席による参加

アートホテル盛岡

〒020-0022 岩手県盛岡市大通3丁目3-18

TEL 019-625-2131 / FAX 019-626-9092

#### (2) オンラインによる参加

Web 会議システム Zoom（ログインに必要な情報は、申込後にお知らせします。）

## 8 日程

令和3年10月13日(水) 前日

| 時間          | 内容              | 会場       |
|-------------|-----------------|----------|
| 15:00-15:20 | 受付              | 3 F 青雲の間 |
| 15:25-16:10 | 事前打合せ           |          |
| 16:15-17:00 | 発表者打合せ・発表機器作動確認 | 3 F 鳳凰の間 |

令和3年10月14日(木) 第1日

| 時間          | 内容               | 会場       |
|-------------|------------------|----------|
| 08:30-09:00 | 受付               | 3 F 鳳凰の間 |
| 09:00-09:30 | 開会行事             |          |
| 09:40-11:50 | 所管事項等説明          |          |
| 11:50-12:50 | <昼食>             |          |
| 12:50-14:40 | 研究協議(発表4題、質疑応答)  |          |
| 14:40-15:00 | 指導助言             |          |
| 15:00-15:10 | <休憩>             |          |
| 15:10-16:40 | 全国実習船運営協会照会事項等説明 |          |
| 16:40-17:00 | 諸連絡              |          |

令和3年10月15日(金) 第2日

| 時間          | 内容   | 会場       |
|-------------|------|----------|
| 09:00-10:30 | 講演   | 3 F 鳳凰の間 |
| 10:45-11:30 | 閉会行事 |          |

## 9 次第

### (1) 第1日

#### ア 開会行事

(ア) 開会の言葉

(イ) 主催者挨拶

全国水産高等学校実習船運営協会理事長

(ウ) 来賓挨拶

文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当) 付産業教育振興室助成係長

岩手県教育委員会教育長

岩手県高等学校長協会会長

(エ) 来賓紹介

(オ) 主管校校長挨拶

岩手県立宮古水産高等学校長

(カ) 諸連絡

#### イ 所管事項等説明

(ア) 文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当) 付産業教育振興室助成係長

(イ) 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官

(兼) 文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当) 付産業教育振興室教科調査官

(ウ) 農林水産省水産庁増殖推進部

(エ) 農林水産省水産庁資源管理部

(オ) 国立研究開発法人水産研究・教育機構国際水産資源研究所

(カ) 公益財団法人産業教育振興中央会

(キ) 一般社団法人大日本水産会

(ク) 全国漁業協同組合連合会

- (ケ) 日本かつお・まぐろ漁業協同組合
- (コ) 公益財団法人日本無線協会

ウ 研究協議

(ア) 議長団選出

(イ) 研究報告並びに協議

a 北海道・東北地区

発表者 宮城県気仙沼向洋高等学校 教諭 廣 木 裕  
主 題 「実習船が果たす教育的役割について」  
副 題 「実習船を活用した地域の海洋教育に果たす役割」

b 関東・東海地区

発表者 神奈川県立海洋科学高等学校 総括教諭 吉 兼 徹 也  
主 題 「実習船が果たす教育的役割について」  
副 題 「新学習指導要領に対応した乗船実習における評価方法の検討」

c 日本海地区

発表者 鳥取県立境港総合技術高等学校 教諭 桧 山 盛 生  
主 題 「魅力ある船内教育について」  
副 題 「総合選択制高校の乗船実習はどうあるべきか」

d 四国・九州地区

発表者 高知県立高知海洋高等学校 教諭 島 田 英 治  
主 題 「実習船の管理・運営について」  
副 題 「安全で安心な航海を目指して」

エ 実習船運営協会照会事項説明

(2) 第2日

ア 講演

講師 岩手県立宮古水産高等学校  
副校長 伊 藤 俊 也  
演題 「発災から10年 東日本大震災を振り返る」

イ 閉会行事

(ア) 文部科学省講評

(イ) 主催者挨拶

全国水産高等学校実習船運営協会理事長

(ウ) 主管校校長挨拶

岩手県立宮古水産高等学校長

(エ) 次年度主管校校長挨拶

富山県立滑川高等学校長

(オ) 閉会の言葉

- 【事業名】 紫根染（絞り模様入り）の体験教室  
【日時】 令和3年10月20日（水） 13：30～15：30  
【場所】 本校調理実習室  
【事業内容】 体験教室 寺田小学校5・6年22名、本校生9名  
（1）13：30～13：50 紫根染に関する説明、研究内容の紹介  
（歴史や紫根の活用方法、染め方など）  
（2）13：50～15：30 絞り模様、媒染作業、紫根染、後媒染、仕上げ  
【写真】



はじめの挨拶



絞り模様を入れる



紫根の染液で染めている小学生



自分の作品を持って

【本校生徒の感想】

- ・改めて紫根染めについて細かく学べて良かったなと思っていました。絞り方では、今まで知らなかったことがわかり、自信を持って小学生に教えることができました。（高校3年女子）
- ・染色液の温度で色が変わるということを改めて実感しました。次も、温度管理をしっかりして、いい色が出せるようにしたいです。（高校3年男子）

【参加者の感想】

- ・わかりやすく教えてくれて、楽しかった。（5年生）
- ・ムラサキ染めを次もやってみたいと思いました。（5年生）
- ・紫根染をして、楽しかったし、平高に入りたいと思いました！（6年生）
- ・初めてやってみて、すごく楽しかったので、またやってみたいです。（6年生）
- ・いろいろ、きれいな模様ができて楽しかったです。（5年生）
- ・平高のみなさんといっしょにし根染をしてすごく楽しかったです。（6年生）
- ・とてもきれいにそめることができました、またやってみたいです。（6年生）

- 【事業名】 紫根染（絞り模様入り）の体験教室  
【日時】 令和3年11月17日（水） 13:30～15:30  
【場所】 本校調理実習室  
【事業内容】 体験教室 平舘小学校6年16名、本校生9名  
（1）13:30～13:50 紫根染に関する説明、研究内容の紹介  
（歴史や紫根の活用方法、染め方など）  
（2）13:50～15:30 絞り模様、媒染作業、紫根染、後媒染、仕上げ  
【写真】



はじめの挨拶



絞り模様を入れる



紫根の染液で染めている小学生



自分の作品を持って

【本校生徒の感想】

- ・講習会で、小学生の皆さんに楽しい時間を過ごしてもらえたと思います。これを機に地域の皆さんに知ってほしいし、もっと紫根染めの大切さを実感してもらいたいです。次回、一般の方々にも教えられよう、頑張りたいです。（高校3年女子）
- ・洗濯ばさみやビー玉などをいろんなところに入れることで、今までに見たこともないような不思議で面白い柄になりました。楽しんでもらえたと思います。（高校3年男子）

【参加者の感想】

- ・初めて、紫根染体験をしました。思っていたよりも完成するのに時間がかかるし、どんな模様になるのかが不安でした。でも、とてもうまく染まったので、また作ってみたいです。（6年生）
- ・作るのは大変だったけど、出来上がった時は、嬉しかったです。（6年生）
- ・紫根染は想像の何倍も綺麗だったので、びっくりしました。（6年生）
- ・優しく教えてくれたおかげで、上手くできて楽しかったです。（6年生）

- 【事業名】 紫根染（絞り模様入り）の体験教室  
【日時】 令和3年11月24日（水） 13:30～15:30  
【場所】 本校調理実習室  
【事業内容】 体験教室 八幡平市民12名、本校生11名  
（1）13:30～13:50 紫根染に関する説明、研究内容の紹介  
（歴史や紫根の活用方法、染め方など）  
（2）13:50～15:30 絞り模様、媒染作業、紫根染、後媒染、仕上げ  
【写真】



はじめの挨拶



絞り模様の説明



紫根の染液で染めている様子



自分の作品を持って

【本校生徒の感想】

- ・ムラサキや染めの作業についてなど興味をもって楽しんで行ってもらうことができました。（高校3年女子）
- ・平高の紫根染めを地域の方々にも興味を持ってもらうために家庭クラブの活動として取り入れることは紫根染めが広まる機会だと思うのでよかった。地域の方々も紫根染めについてたくさん知ってもらえたと思う。伝統を繋げるための活動を取り入れていけばいいと思う。（高校2年女子）

【参加者の感想】

- ・3回目の参加だったが、今回の染めがとても気に入りました。（八幡平市 女性）
- ・とても楽しかったし、この地区にこんな素晴らしい技術があるのは、とてもいいことなのでこれからも続けてほしい。
- ・2回目でしたが、参加出来、楽しく作業が進み生徒さんも分かりやすい説明で良かった。（八幡平市 女性）
- ・毎年やってほしい。（八幡平市 男性）

【事業名】 家政科学科調理技術講習会

【日時】 令和3年10月25日（月） 11:00～12:50

【場所】 本校調理実習室

【事業概要】 家政科学科3年 5名参加

講師 いこいの村岩手支配人待遇総料理長 藤村 裕士 氏

家庭科食物調理技術検定に向けて、地元のホテルで活躍している総料理長を講師に迎え、調理の基礎・心得・調理技術を学習し、習得する機会とする。

【写真】



【生徒の感想】

- ・ いままでホワイトソース作りは、だまになりやすく大変でしたが、藤村先生から牛乳を少し温めることでだまになりにくくなると教わり、そのとおり実践してみると、とても上手なホワイトソースを作ることができました。12月に食物調理技術1級検定があるので藤村先生から教わったことをしっかり身につけ合格を目指したいです。
- ・ ホワイトソースは、慌てて作ってしまうと焦げて茶色いソースになり、失敗しやすいと教わりました。これから受験する食物調理技術1級検定は制限時間があるので、とても焦って作ってしまいそうですが、藤村先生から教わったことをしっかり頭の中に入れ、ホワイトソース作りの練習に励みたいと思います。
- ・ 藤村先生が作ったホワイトソースは、とてもクリーミーで美味しそうなソースでした。火加減が大事であるとおっしゃっており、先生は何度も鍋をガスコンロから離して温度調節をしていました。ホワイトソース作りの技術を間近に見ることができて、バターと小麦粉の炒め方や牛乳を入れるタイミングがわかりました。12月の食物調理技術1級検定合格に向けて、今回教わったことをしっかり練習していきたいです。

【事業名】 家政科学科調理技術講習会

【日時】 令和3年11月5日（金） 10:00～12:50

【場所】 本校調理実習室

【事業概要】 家政科学科2年 9名参加

講師 いこいの村岩手支配人待遇総料理長 藤村 裕士 氏

家庭科食物調理技術検定に向けて、地元のホテルで活躍している総料理長を講師に迎え、調理の基礎・心得・調理技術を学習し、習得する機会とする。

【写真】



【生徒の感想】

- ・調理技術講習会では、お弁当の作り方をご指導いただきました。ほうれん草や菊のゆで方などの野菜の下処理の方法を科学的な視点から教えていただき、方法とその理由がわかりました。丁寧に下処理をすることが、料理のできあがりに影響するのでしっかりと行いたいと思いました。
- ・藤村先生の調理する姿を目の前で見させていただき、包丁さばきの美しさに感動しました。リンゴの飾り切りを先生がやると簡単そうなのに、自分でやると難しかったです。先生にコツを教えていただき、自分でもできるようになり嬉しかったです。
- ・先生に教えていただいた、三色（赤、緑、黄）の彩りを意識し、食べる人が「美味しい」と喜んでもらえるようなお弁当を作れるよう、何度も練習して技術を高めていきたいです。
- ・作業工程の順番を変えるなど、限られた時間の中で調理時間を有効に使うための工夫を教えていただきました。包丁さばきなどの技術を高めることはもちろんですが、作業の流れをつかみ、無駄な時間をなくすことで制限時間内に完成できるようにしたいです。

|        |                          |                |  |
|--------|--------------------------|----------------|--|
| 【事業名】  | 「生活産業基礎」第3回職場見学・実習       |                |  |
| 【日時】   | 令和3年12月14日（火） 9：00～14：30 |                |  |
| 【場所】   | 四季館 彩冬                   |                |  |
| 【事業内容】 | 家政科学科1年                  |                |  |
|        | 9：00～10：30               | 事前学習・オリエンテーション |  |
|        | 11：00～12：00              | 館内見学           |  |
|        | 12：00～13：00              | 客室、食堂業務実践      |  |
|        | 13：30～14：10              | 接遇について講話       |  |
| 【写真】   |                          |                |  |



客室見学・説明



郷土料理作り

【生徒の感想】

- ・客室の全てがそれぞれ違うテーマをもつ内装に感動しました。宿泊客のニーズに合わせて部屋ごとのテーマがあり、幅広い世代のお客様に楽しんでもらえる素晴らしいこだわりだと思いました。お客様の記念日に、従業員直筆のメッセージカード付きワインボトルをプレゼントするなどお客様が喜ぶ、心のこもったサービスに驚きました。  
私は、接客業に興味をもっているので四季館彩冬で学んだことを将来にいかせるよう頑張りたいです。
- ・私は、ランチタイムで使用する伝票作りをしました。一見単純な作業ではありますが、料理や掃除の合間に、このような仕事もテキパキとこなしている従業員の方々の姿に、感心しました。支配人斎藤様のお話で印象に残ったことは、「慣れた感じで対応をしない」ということです。その日一日がお客様にとって思い出に残る大事な日であることを忘れず笑顔で対応することが大切であることを教わりとても勉強になりました。接客には笑顔と挨拶が大切であることも教わったので、普段の生活においてもこれら心がけていきたいです。
- ・コーヒーをいれる実習を行いました。フィルターを使ったやり方とプレス式のやり方の二種類を教わりました。試飲し、味やコクの違いがわかりとても勉強になりました。また、郷土料理のきりたんぽ作りも体験でき、きりたんぽの形を整えることがとても大変でしたが、従業員の方が丁寧に教えてくださり、とても美味しくできあがり嬉しかったです。
- ・クレーム対応のユニークさに驚きました。また、外国人客対応もとても感心しました。外国のお客様には日本を楽しんでもらいたく、あえて日本語で対応することでその不自由さも楽しんでもらいたいという考えなど、四季館彩冬さんのこだわりの接客はとても素敵だと思いました。  
私は、将来の仕事に民宿で働くという考えはありませんでしたが、今回の経験で民宿もお客様に笑顔を届けられる素敵な仕事だと思いました。

【事業名】 「産業社会と人間」特別講演会

【日時】 令和3年11月4日（木） 13:40～15:00

【場所】 本校大講義室

【事業内容】

講師 あぐり茶屋 細川 栄子 氏

本校卒業生の高校時代を振り返った話を聞き、生徒が自分の高校生活を置き換えて将来を考えるきっかけにする。

【写真】



講演会の様子



話を熱心に聞く生徒

【本校生徒の感想】

- ・ 広い範囲に病気が流行し、経済的にも精神的にもとても厳しい状況でも自分の気持ちを曲げずに少しずつ良い方向に向かっていったことも、自分で子牛から育てた牛を最後まで責任をとって見届けるというところにも、細川さんの仕事に対する思いや覚悟が感じられ、考えさせられました。自分が進む道に対する考え方についても、ポジティブにとらえて前に進んでいる細川さんを見習いたいと思ったのと同時に、ほかのものや人に頼りきりな自分の生活を見直さなくてはならないと思いました。また、「夢は叶えるもの、運はつくるもの」という言葉や「やろうと思えばいくつになってもできる」という言葉にも勇気をもらえました。私も年齢に縛られずに夢に向かって突き進めるような人間になりたいと思いました。(1C女子)
- ・ ここまで来られたのは家族や仲間たち、そして牛たちの支えがあってこそだというお話が、すごく素敵だった。自分でできることは自分でやったほうが辛いという言葉がとても心に刺さった。今の私は全て自分のことをできるわけではないから、できるようにしたいなと思った。「夢は叶えるもの、運は自分でつくるもの」ということばが素敵で感動した。運はいつも願って待っているだけだったので、「つくる」という言葉に考えさせられた。(1A女子)
- ・ 「運は自分でつくるもの」「夢は叶えるもの」という言葉が心に残りました。どんな逆境や困難があってもいつかは乗り越えることができるのだから、あきらめずに努力し続けた方がということ、他人の言うことを優先しすぎずに、時には自分を優先してもいいということが一番に学びました。強かで美しい女性である細川さんのような生き方は、私には絶対にできないだろうけれども、自分らしく夢や目標をもち、常にそれを更新したりしながら、それに向かって努力し、叶え続けていきたいなと思いました。(1B女子)

【事業名】 「産業社会と人間」特別講演会  
【日時】 令和3年12月16日（木） 11:00～12:00  
【場所】 本校マルチメディア実習室2

【事業内容】 講師 天野 咲 耶 氏（作家、紫波町地域おこし協力隊）  
紫波町に移住し、地域の発展に尽力している若者の体験談を聞き、  
「外部から見た地域の魅力」という視点で地域について考えるきっかけにする。

【写真】



講演会の様子



話を熱心に聞く生徒

【本校生徒の感想】

- 最初の場所当てクイズでは、フルーツパークや図書館、紫波稻荷神社はわかったが、普段何気なく通っている場所でも知らないところがあり、新しく紫波町に来た人から見ると魅力があるのだとわかった。改めて別の目で見ると自分が住んでいるところの魅力が見えてくるのかなと思った。また、地域おこし協力隊としての仕事を聞いてみて、新しい目で楽しく過ごせていてうらやましいと思った。外国へ行ってみるのも好きな場所を見つけられて良いなと思ったので自分も外国に行ってみたい。好きなことを仕事にして生活をしていくこともよいと思った。（1A女子）
- 私は、紫波町のよいところをよくわかっていませんでしたが、今回のお話を聞いて少し紫波町のよいところを見つけられた気がしました。また、「好きなことに挑戦する」や「好きなことを仕事にする」ということが一番大切なのだなと思いました。私は、今回のお話を通して紫波町のよいところや自分にできることなどをたくさん見つけられたらと思いました。今後の学校生活では、天野さんのおっしゃっていたことをいかしてこれからの短い学校生活を送っていきたいと感じました。（1B女子）
- いつも学校に通うために紫波に来ているので、紫波町のことはあまり知らなかったのですが、今日改めて考えてみると、意外と紫波町はいろいろな魅力があるのだと思いました。私の紫波町の好きなところは自然です。住宅地には電線がないのできれいで住みやすい場所だと思いました。図書館の話では、地域の人たちの交流や情報を得られたり、人との距離を縮めたりできる場所でもあるのだと思いました。さらに、楽しいと思うことはとりあえずやってみる、挑戦してみる大切なのだと感じました。そのことが自分の将来につながれると思ったので、今日聞いたことをいかして頑張っていきます。（1C女子）
- 私は、紫波町は盛岡に近く自然豊かでおいしいものがいっぱいあるのが魅力だと思っていましたが、挑戦する人がたくさんいるのが魅力だと聞いて新しい視点を持つことができました。私は基本的にチャレンジをしないで安定を求めるのですが、人生がつまらないと漠然と感じていました。しかし、何かにチャレンジする人は人生が楽しそうだと思っていたので、何かにチャレンジをして、楽しいと思うことは全部やって後悔のないように生きていきたいです。（1D男子）

【事業名】 「産業社会と人間」特別講演会

【日時】 令和4年1月27日（木） 13:35～15:25

【場所】 本校マルチメディア実習室2

【事業内容】

講師 藤原 翼 氏（紫波町在住 津軽三味線奏者）

紫波地域出身者であるプロの三味線奏者の方から地域や職業についての話を聞き、生徒が地域の課題について考えるとともに職業観を養う。

【写真】



三味線の説明



生徒による三味線体験

【本校生徒の感想】

- ・三味線はとても力強い音がするのだとわかりました。また、演奏の仕方によってはとても繊細な音が出ていてとてもきれいだと思いました。近くで聴いたのは初めてだったのでとてもわくわくしました。自分の好きなことを仕事にしている人はすごいとあらためて思いました。自分の夢をかなえるためには運も大事だと聞いたことがあったので、今日話を聞いてやはり運とタイミングも大事なのだとわかりました。自分の夢をかなえている人に実際に会えたことで自分もあきらめずに頑張ろうと思うことができました。（1A女子）
- ・もう少し音が小さいのかなと思っていましたが、とても音が大きくて弾き方も激しいことが実際に見てわかりました。楽器が高いということは知っていましたが、プロが使う楽器は200万円をこえているとは思いませんでした。さらに、楽器の備品が消耗品だといわれたときは驚きました。しかし、改めて考えてみて確かにそのくらい消耗するのだなと思いました。ロシア人の人が本当に楽器を買うときにお金を出してくださったというエピソードに驚きました。さらに自分の将来に役立つ言葉、例えば「プロとして一番大切なことは挨拶だ」などは忘れずにいたいです。（1B男子）
- ・小さいころに始めたことや、親の影響で始めたことが長い間続けていられることはとても素晴らしいと思った。さらに、20年もの間続けた上に、25歳までは仕事と両立させていたことにもすごいと感じた。25歳という若さで仕事をやめ、家族がいて大変な時に5年間という期限をつけてプロとして演奏者として独立できるか頑張っていこうと決断し、その夢がかなって今の今までプロとして活動していることに大きな驚きを感じ、印象に残った。自分も何かに夢中になって大人になっても続けられるものを見つけたいと思った。（1D女子）

- 【事業名】 食物系列3年 西洋料理実技講習会  
【日時】 令和3年6月2日（水）  
【場所】 久慈東高等学校 専門調理室  
【事業概要】 地域の食材を生かした西洋料理を展開し、地方の活性化に貢献されているシェフの生き方や料理の感性を身近に触れ、技術向上と自身の将来の展望を探る。

（1）講習会日程・内容

10:00～

講師紹介、講話及びデモンストレーション

講師：伊藤 勝康 氏（ロレオール田野畑オーナーシェフ）

11:00～12:30

実習、試食

＜献立＞「鱒とじゃが芋粉のクリーム煮、ほうれん草のソテー添え」

「短角牛のサーロインステーキ 山葡萄ソース添え」

（付け合わせ）ブロッコリーと椎茸、カブ、ズッキーニのソテー

「若布とパプリカのチーズリゾット」

「鱒のアラ出し海藻スープ」

（2）参加者数

食物系列3年 17名

（3）参加者の様子

実技講習会の冒頭に伊藤シェフは優しい口調で「人間も自然の一部。命を頂くことで自分の体が作られる。料理人はお客さんの命を預かっているのと同じ。食材をよく見る事。誰が作っていて、どんな作り方をされているか理解することも大事だよ」と生徒へ語り掛け、緊張気味の生徒達を一気に引き込ませ集中させた。生産者さんとふれあい、地域の食材を大切にしているシェフはメニューのほとんどに地元食材を使用。調味料は塩と胡椒のみで、シンプルだが素材の味を引き出す調理法を伝授してくれた。

また、普段の実習では使えない南部鉄器を持参して頂き、いかに旨味を残して調理するか実践を通して教えて頂いた。味付けは一人ひとりにスプーンを渡し、しっかり自分の舌で確認することの示唆を受ける。偉大なシェフの指導を、感動しながら楽しみながら講習を受ける生徒達は、教科書では学ぶ事のできない調理師としての奥深さを改めて悟り貴重な体験をする事が出来た。



【生徒の感想】

- ・料理とは何かを改めて学びました。美味しく作ることを前提に、地元の食材を大きく活かし生産者や自然への感謝を持ち、お客様への思いやりの心を忘れない料理が一番美味しいことに気がつきました。また、伊藤シェフのお話を聞いて、人としての在り方も学ぶことが出来ました。食事をするのが当たり前となっている現代に、食材の使い方、道具、自然環境への配慮など自分たちの生活が正しいのか見直し、より豊かな食材をこれからの地球に求めていくことの大切さを考えることが出来ました。（3年男子）
- ・今回の講習を受けて、料理する上で技術だけでなく先のことを考えながら料理を作ること、気持ちの部分でも大切なことを学びました。私はシェフの話を聞くまでは料理人は美味しい料理を作ってお客様を喜ばせることが仕事と思っていました。しかし、それだけではなくお客様の命を預かっているから、健康でいられる様に人の体を守る事が仕事だということがわかりました。お客様の体調やサービスの部分の至るところまで考え、より良いものを提供できる様に頑張っていこうと思います。（3年女子）
- ・伊藤シェフは、食材や調理器具にもこだわりを持って調理をしている事を知りました。岩手の工芸品の南部鉄器を使用したり、少し高い値段でも安心安全で美味しい食材選びをしていることをとても強く感じました。さらに、現代の日本の情勢、SDGsの問題と食の結びつきを知る事ができ、様々なことに興味が湧きました。西洋料理の技術を細かい所まで直接教わることはとても貴重な体験になりました。（3年女子）
- ・人は自然にあるものを加工して食事をしているが、人の自業自得で温暖化になっている。普通のフライパンは1年で交換しなければならないが、伊藤シェフが使っている南部鉄器はしっかりと手入れをすれば、長く使えるしリサイクルもできると環境のことを想っている。さらに、食材を見たり作っている人の顔を思い浮かべながら調理をするなどのこだわりがあった。そのつながりで地球が循環している。勉強でも、なんでも覚えたことを使えなければならない。覚え方は人それぞれだから、一人ひとりにあった覚え方をするのが大切。あきらめずにやり続けることが大切。5年10年とやり続ければ自然と身に付く。失敗から学んだことがデーターとなって自分のものとなりできるようになる。あきらめずにやり続けることが技術を上げる近道だと感じた。（3年男子）
- ・「料理は思い切りが大事」「レシピはただの目安だから自分の舌で決めるのが大切」という言葉が印象に残った。また地元野菜を使うことで生産者さんの顔がわかり、人と人のつながりができると話していて地元野菜を使うことのメリットを学ぶことができた。私は将来、栄養士になりたいと考えているが、シェフが「健康でいるために大事に食べる」と話していて化学性調味料で美味しさをごまかすのではなく、地元食材のうま味を生かすことのできる栄養士になりたい。また、最後は自分の舌が味を決めるので、レシピをただ見て作るのではなく、工夫したりチャレンジすることを忘れず、これから自分なりの料理が作れる調理師になれるよう、普段の実習等も頑張りたい。（3年女子）

【事業名】 フラワーアレンジメント実技講習会

【日時】 令和3年12月8日（水）

【場所】 北上翔南高等学校視聴覚室

【事業概要】 学校設定科目「生活教養」を選択している生徒を対象に、フラワーアレンジメントの基礎基本を習得させる。

（１）実技講習会の内容

外部講師の指導を受け、クリスマスにかけて飾ることのできるフラワーアレンジメントに取り組みました。同じ花器、花材、資材を用いているが、個性あふれる作品となり、校舎内や家庭生活を豊かにすることに役立てられました。

（２）対象生徒数 31名

【写真】



【生徒の感想等】

- ・ 7月にオールラウンドでの基礎基本のフラワーアレンジメントを体験し、花の切り方、生け方の基礎を学びました。2回目の12月は、クリスマスにかけて飾ることのできるフラワーアレンジメントの応用作品に取り組みました。今回は、「1回目の技能を活用して、一人一人アレンジメントを構成してほしい。」と、講師の先生が話されました。花材は、ガーベラ、スプレーカーネーション、リュウカデンドロ、かすみ草、モミチップ、松笠、姫りんご等でした。1回目のときよりも講師の先生のアドバイスを生かして、時間に余裕をもって作品を仕上げることができました。

【事業名】「産業社会と人間」校外学習(職場見学)

【日時】令和4年3月4日(木) 10:00～13:00

【場所】あらえびす野村胡堂記念館・紫波町図書館

【事業内容】野村胡堂記念館および紫波町図書館を見学することで、紫波の魅力を再発見し、探求する面白さを体感させる。さらに来年度の「総合的な探求の時間」の足掛かりとするため、探求の方法について学ぶ。

【写真】



荒我野村胡堂記念館見学



紫波町図書館見学

【本校生徒の感想】

○あらえびす野村胡堂記念館見学

- ・紫波町出身の先人でこのようなすごい人がいることを初めて知りました。全部見られなかったのが、今度また行ってみたいと思いました。(1 A女子)
- ・石川啄木など自分が知っている人と知り合いだということを初めて知りました。テレビで銭形平次をやっていることは親から聞いていましたが、作者が紫波町の偉人だったことに驚きました。(1 B男子)
- ・野村胡堂さんは小説家や音楽のよさを伝える人、貧しい人々にお金を渡すなど80年間生きてきた中でたくさんのことをしてきたのだと思いました。特に大学生に奨学金を渡す話は印象に残り、素敵の人だと思いました。(1 C女子)
- ・人生で初めてレコードを聴くことができてうれしかったです。(1 D男子)

○紫波町図書館見学

- ・今まで本を借りるだけの場所としか思っていなかったが、ステージや調理場、楽器が演奏できる場所もあり、使ってみてみたいと思いました。(1 A男子)
- ・図書館として利用できるうえに、様々な自分のやりたいこともできる多種多様な施設だということがわかりました。また、司書の方の仕事内容についても知ることができました。(1 B女子)
- ・高校の図書館は自分たちに関係のある学習や小説などが多く、紫波町の図書館はすべての年代の方が興味を持てる本がジャンル別に並んでいることに気づきました。町の図書館があることは知っていましたが、あまり寄っていなかったのがたくさんおじゃましたいと思いました。(1 C女子)
- ・司書の方に本について質問したのですが、やさしく対応してくださったので、これからも調べたいことがあるときには頼りにしたいです。(1 D男子)

# さんフェア埼玉2021

第31回全国産業教育フェア埼玉大会

専門高校等の生徒による  
学習成果発表の祭典

さんフェア埼玉2021



【主催】第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会、文部科学省、埼玉県、埼玉県教育委員会、公益財団法人産業教育振興中央会  
【共催】川崎市、川崎市教育委員会  
【問合せ先】〒330-8501 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号  
第31回全国産業教育フェア埼玉大会実行委員会事務局(埼玉県教育委員会立学校部高等学校教育指導課内) TEL:048-830-6769 FAX:048-830-4959

※ さんフェア埼玉2021は基本的にWEB開催となりました。  
ロボット競技会やフラワーアレンジメントコンテストは事前に動画を提出しての審査となっています。

大会パンフレット

## 大会日程



※ フェアの中で各専門部会の学校紹介のコーナーがあります。

盛岡農業高校は楽しくて分かり易い紹介動画を作成しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=hIGE5LmLT4U>

## 第31回全国産業教育フェア埼玉大会 開催日程

|                 |                           | 日 程                               |               | 令和3年10月30日(土) |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|-----------------|---------------------------|-----------------------------------|---------------|---------------|---------------|--------------------------|---------------|---------------|---------------|----------------------------------|---------------|---------------|---------------|----------------------------------|---------------|---------------|---------------|--|--|
| 会 場             |                           | 9時                                | 10時           | 11時           | 12時           | 13時                      | 14時           | 15時           | 16時           | 17時                              | 18時           | 19時           | 20時           | 21時                              | 22時           | 23時           | 24時           |  |  |
| 大会会場<br>新大塚市民会館 | 大ホール                      | アイエフエフ<br>展示会                     | アイエフエフ<br>展示会 | アイエフエフ<br>展示会 | アイエフエフ<br>展示会 | アイエフエフ<br>展示会            | アイエフエフ<br>展示会 | アイエフエフ<br>展示会 | アイエフエフ<br>展示会 | アイエフエフ<br>展示会                    | アイエフエフ<br>展示会 | アイエフエフ<br>展示会 | アイエフエフ<br>展示会 | アイエフエフ<br>展示会                    | アイエフエフ<br>展示会 | アイエフエフ<br>展示会 | アイエフエフ<br>展示会 |  |  |
|                 | 大ホール前ホワイエ<br>(2F)         | 高校生によるサイエンスフェア(同時開催)<br>各部会紹介動画   |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 多目的ホール<br>(1F)            | 体験会場①<br>(工業部会・家庭・福祉部会)           |               |               |               |                          |               |               |               | 体験会場②<br>(工業部会・家庭・福祉部会)          |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 第1・2・3会議室<br>(1F)         | 体験会場③<br>(VR体験・企業連携)              |               |               |               |                          |               |               |               | 体験会場④<br>(VR体験・企業連携)             |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 活動室1・2<br>(2F)            | 体験会場⑤<br>(職業部会)                   |               |               |               |                          |               |               |               | 体験会場⑥<br>(職業部会)                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
| 大会会場<br>新大塚市民会館 | 会議室1・2<br>(2F)            | 体験会場⑦<br>(職業部会)                   |               |               |               |                          |               |               |               | 体験会場⑧<br>(職業部会)                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 小ホール<br>(2F)              | 文部科学省事業発表会<br>(全国)                |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 活動室3<br>(2F)              | 全国高校生<br>ワークショップ                  |               |               |               | 第20回全国高校生<br>ロボティクスコンテスト |               |               |               | 全国高校生<br>力強い発表<br>研究発表会          |               |               |               | 第4回<br>全国高校生<br>プログラミング<br>コンテスト |               |               |               |  |  |
|                 | 活動室4<br>(2F)              | 作品・研究発表<br>(全国)                   |               |               |               |                          |               |               |               | 意見・体験発表<br>(全国)                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 研修室1<br>(3F)              | 全国商業高校生リアル<br>マーケティングコンテスト        |               |               |               |                          |               |               |               | 全国商業高校生リアル<br>マーケティングコンテスト       |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
| 大会会場<br>新大塚市民会館 | 研修室2・3<br>(3F)            | 第20回全国高校生<br>ロボティクスコンテスト          |               |               |               |                          |               |               |               | 第4回<br>全国高校生<br>プログラミング<br>コンテスト |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 研修室4<br>(3F)              | 第20回全国高校生<br>ロボティクスコンテスト          |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 第1情報処理室<br>第2情報処理室<br>明細館 | 第20回全国高校生<br>ロボティクスコンテスト          |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 大会会場<br>新大塚市民会館           | 第20回全国高校生<br>ロボティクスコンテスト          |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 大会会場<br>新大塚市民会館           | 第20回全国高校生<br>ロボティクスコンテスト          |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
| 大会会場<br>新大塚市民会館 | 内容                        | 配 置 時 期                           |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 作品展示(全国)                  | 令和3年10月30日(土)から令和4年3月31日(木)       |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | ネット販売(全国)                 | 令和3年10月中旬から約1ヶ月間を予定               |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 第31回<br>全国産業教育振興大会        | 令和3年10月中旬から令和4年3月31日(木)           |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
| 大会会場<br>新大塚市民会館 | 内容                        | 中間報告や会場につきましては、都合により変更になる場合があります。 |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 作品展示(全国)                  | 令和3年10月30日(土)から令和4年3月31日(木)       |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | ネット販売(全国)                 | 令和3年10月中旬から約1ヶ月間を予定               |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |
|                 | 第31回<br>全国産業教育振興大会        | 令和3年10月中旬から令和4年3月31日(木)           |               |               |               |                          |               |               |               |                                  |               |               |               |                                  |               |               |               |  |  |



## 令和3年度「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」募集要項

公益財団法人産業教育振興中央会  
公益社団法人経済同友会

### 1. 趣旨

今日、我が国では第4次産業革命が進展し、AIやIoTなどの急速な技術発展により産業構造も大きく変わり、グローバルな競争も激化している。さらには、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、経済活動も含めた社会全体に深刻な影響を及ぼし、生活様式や就労形態など社会システムの在り方を大きく変えている。これらを克服し、我が国がさらに発展し活力ある社会を築いて行く上では、これからの社会を支える若い世代の力が必要である。とりわけ、将来の自己の仕事に明確な目的意識を持ち「しごと」に直結する知識や技術を学んでいる専門高校の生徒には大きな期待が寄せられている。

このため、将来の日本の産業・企業を支える専門高校の生徒の学習意欲の高揚を図るとともに専門教育に対する社会からの関心を高め、専門高校の活性化を図るため、専門高校の生徒を対象に、(公財)産業教育振興中央会及び(公社)経済同友会の共催により「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」を実施する。

### 2. 応募資格

専門教育を主とする学科（専攻科を除く。総合学科を含む）に在籍する高等学校生徒

### 3. 作品募集内容

#### (1)研究文の部

- ・個人またはグループによる専門教育に関する研究・実験・調査等の研究の成果をまとめたものであること。
- ・未発表のものであること。
- ・A4判縦型（1ページは、22字×38行×2段）8ページ以内（写真・図表等を含む）とし、電子データで作成すること。
- ・タイトル、学校名、学科名、学年、氏名は、最初のページの頭に、横2段に通して10行分（左段10、右段10計20行分）に入れること（原稿1枚目のみ）。
- ・写真・図表等がある場合は、その分の余白（標準1段8行分）を取り、挿入個所をご指定するか、原稿に直接貼り付けること。

#### (2)作文の部

- ・個人が現に学んでいる専門教育での体験について、感想・決意・抱負・将来の仕事などを述べたものであること。
- ・未発表のものであること。
- ・A4判縦型（1ページは、22字×38行×2段）2ページ以内とし、電子データで作成すること。
- ・タイトル、学校名、学科名、学年、氏名は、最初のページの頭に、横2段に通して10行分（左段10、右段10計20行分）に入れること（原稿1枚目のみ）。

#### 4. 応募方法

- (1)応募作品は、学校所在地、学校名、学科名、学年、氏名を明記した表紙（A4判）を添付し、学校長を経由して、学校所在の各都道府県産業教育振興会宛（振興会の定める必要部数を期日まで）に提出すること。
- (2)各都道府県産業教育振興会においては、応募作品を取りまとめ、9月13日(月)までに作品1部と電子データを産業教育振興中央会宛に送付すること。

#### 5. 審査

農業、工業、商業、水産、家庭、看護、福祉の各専門高校校長協会及び経済同友会より推薦された者を審査委員として、10月下旬～11月上旬までに応募作品を審査し、「研究文」及び「作文」のそれぞれについて、産業教育振興中央会から最優秀賞、優秀賞、佳作を決定する。経済同友会賞は、12月中旬～翌1月初旬に決定する。

#### 6. 審査結果の発表等

審査結果については、産業教育振興中央会より各振興会長宛に通知し、学校長及び本人に伝達を依頼するほか、月刊誌「産業と教育」の誌上で発表する。また、併せて、経済同友会HP「みんなで描くみんなの未来プロジェクト」サイトに掲載する。

なお、入選作品（最優秀賞、優秀賞等）については、本会の文集「翔」第31集（令和3年度版）として刊行し、教育諸機関へ頒布する。また、経済同友会HP「みんなで描くみんなの未来プロジェクト」サイトに掲載する。

- (1)入選作品の掲載に際し、その本質を損なわない範囲で、字句の削除、修正をすることがある。
- (2)応募作品は返却しない。
- (3)今回の募集で得た個人情報は、受賞者への連絡及び受賞作品の出版、webサイトへの掲載以外には使用しない。

#### 7. 表彰

- (1)産業教育振興中央会より「研究文」及び「作文」ごとに次の表彰を行うものとし、賞状と副賞（図書カード）は、所属学校長を経由して本人に伝達する。

|      |        |     | 「研究文の部」 | 「作文の部」  |
|------|--------|-----|---------|---------|
| 最優秀賞 | 研究文・作文 | 各1編 | 15,000円 | 10,000円 |
| 優秀賞  | 研究文・作文 | 各2編 | 10,000円 | 5,000円  |
| 佳作   | 研究文・作文 | 各5編 | 3,000円  | 2,000円  |

- (2)経済同友会における表彰については、賞状と盾を授与する。

経済同友会賞 研究文・作文 各3編程度

令和３年度 岩手県産業教育振興会主催  
「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」募集要項

- 1 主 催 岩手県産業教育振興会（公益財団法人産業教育振興中央会）
- 2 趣 旨 産業の各分野における急速な技術革新の進展に伴い、専門教育の充実に新たな期待が寄せられている。このため、専門高校に学ぶ生徒の自覚と学習意欲の高揚を図るとともに、専門教育に対する社会的な関心を高めることに役立てるよう、研究文・作文を募集し、表彰を行う。
- 3 応募資格 専門教育に関する学科・コース(専攻科を除く)に学ぶ高等学校の生徒であること。
- 4 内 容
  - (1) 研究文の部
    - ・個人またはグループによる専門教育に関する研究・実験・調査等の研究の成果をまとめたものであること。
    - ・未発表のものであること。
    - ・A４判縦型（１ページ22字×38行×２段・フォントサイズ10.5ポイント）８ページ以内とし、電子データで作成すること。
    - ・タイトル、学校名、学科名、学年、氏名は最初のページの頭に、横２段に通して10行分(左段10、右段10計20行分)に入れること（原稿１枚目のみ）。
    - ・写真・図表等がある場合、その分の余白（標準１段８行分）を取り、挿入個所を指定するか、原稿に直接貼り付けること。
  - (2) 作文の部
    - ・個人が現に学んでいる専門教育での体験について、感想・決意・抱負などを述べたものであること。
    - ・未発表のものであること。
    - ・A４判縦型（１ページ22字×38行×２段・フォントサイズ10.5ポイント）２ページ以内とし、電子データで作成すること。
    - ・タイトル、学校名、学科名、学年、氏名は、最初のページの頭に横２段に通して10行分(左段10、右段10 計20行分)に入れること。（原稿１枚目のみ）
- ※ なお、研究文・作文とも未発表のものに限るが、今年度の県内の研究会等において発表したものについては、未発表として取扱うものとする。ただし、県代表として東北大会以上で発表したものは既発表として扱う。
- 5 応募方法
  - ・応募作品は学校所在地、学校名、学科名、学年、氏名を明記した表紙(研究文・作文とは別ファイル)とともに、メールの添付ファイルにより岩手県産業教育振興会あてに送信すること。

- ・応募作品のファイル容量が大きい場合は、複数のメールの添付ファイルを分割するか、C D等に記録して郵送すること。(Word・一太郎・EXCEL形式 PDF形式は不可)

## 6 締切期日

令和3年8月20日(金)

※ 産業教育振興中央会の締切が9月13日(月)となっていることから期限を厳守。

## 7 審査・推薦

- ・応募された作品は全て産業教育振興中央会に推薦する。ただし、産業教育振興中央会未加入校の作品を除く。
- ・岩手県産業教育振興会では産業教育振興中央会とは別に審査し、最優秀賞、優秀賞を決定し表彰する。
- ・審査の観点は次のとおりとする。
  - (1) 主題の設定が適切で高校生にふさわしいか。
  - (2) 計画が適切で綿密に進められているか。
  - (3) 記録が正確で資料が適切に使われているか。
  - (4) 内容が適切で創意工夫が見られるか。
  - (5) 結果のまとめが適切であるか。

## 8 審査結果の発表

審査の結果については、令和3年12月上旬までに、高等学校長あてに通知する。

## 9 表 彰

- (1) 岩手県産業教育振興会では入選作品について、記念品を添えて次のとおり表彰する。
 

|         |           |
|---------|-----------|
| ア 最優秀賞  | 研究文・作文各1編 |
| イ 優 秀 賞 | 研究文・作文各1編 |

※ 研究文については担当した生徒全員を表彰する。
- (2) 産業教育振興中央会における入選作品の表彰は、次のとおりである。
 

|          |           |
|----------|-----------|
| ア 最優秀賞   | 研究文・作文各1編 |
| イ 優 秀 賞  | 研究文・作文各2編 |
| ウ 佳 作    | 研究文・作文各5編 |
| エ 経済同友会賞 | 研究文・作文各3編 |

※ 研究文については学校表彰となる。

## 10 その他

- (1) 入選作品については、「事業活動報告書」を掲載する。
- (2) 作文については、校内で選考し、各学科(1～3年)ごと3編以内で応募すること。
 

|               |             |             |
|---------------|-------------|-------------|
| ※ 1編目：機械科1年○○ | 2編目：機械科3年○○ | 3編目：機械科3年○○ |
| 1編目：電気科2年○○   | 2編目：電気科3年○○ |             |
| 1編目：土木科3年○○   | 2編目：土木科3年○○ | 3編目：土木科3年○○ |

岩手県産業教育振興会 専門高校生徒の研究文・作文コンクール  
研究文の部 最優秀賞 受賞作品

「岩手の天然記念物をパンに ～目と口で楽しむさくらパン～」

岩手県立盛岡農業高等学校

食品科学科 第3学年

東 琉 月 吉 田 美 優 千代川 勇 也 下 道 花 梨  
佐々木 睦 藤 井 美南海 三 澤 ののか 湯 澤 翔  
安ヶ平 桜 子

## 1 研究の動機

皆さんは岩手の魅力は何だと思いますか？岩手には米、リンゴ、牛肉などたくさんの食財があります。また、世界遺産に登録されている「中尊寺」や南部富士として県民に親しまれている「岩手山」、そして岩手に春の訪れを告げる「石割桜」など多くの文化財があります。その中で私たちは「石割桜」に注目し、愛でて楽しむだけではなく、「色」、「香り」、「果実」など桜の魅力を余すことなく表現した「さくらパン」を開発し、岩手県の代表的な農作物である「米」の新たな活用方法を見出すことで消費拡大に貢献したいと思い、さくらパンの開発に取り組むことにしました。

## 2 研究目標

- (1) メイラード反応の抑制によるホワイト食パンの開発
- (2) 桜の花・果実の活用法の検討
- (3) 農産物「米」の活用法の検討
- (4) 発色メカニズムの研究
- (5) 商品発売

## 3 研究計画

メイラード反応を抑制したホワイト食パンを開発し、桜の花や果実、米の活用方法の検討。さらに焼成時に桜色に発色

するメカニズムの研究と商品発売を計画しました。

## 4 研究内容

- (1) メイラード反応の抑制によるホワイト食パンの開発

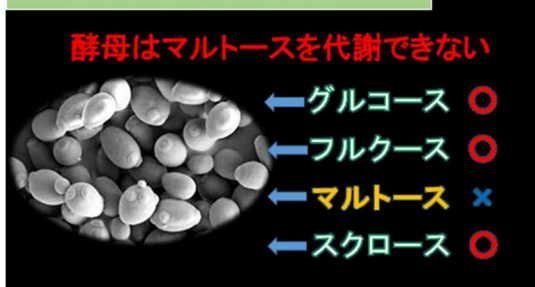


形状について桜の花びらのモチーフや渦巻き模様にするなど検討を行いました。が、どんな形にしても褐色となり桜の花の「色」を活かすことができませんでした。そこで白い部分の多い食パンを選定し、お客様が焼成時にきれいな桜色に変化したら食べる楽しみも膨らむと思い焼成後に発色する食パンの研究に着手しました。私たちは「食品化学」で学習したメイラード反応を抑制することで白く焼成できるのではないと考えました。メイラード反応とはアミノ酸分子構造中のアミノ基と還元糖のカルボニル基が反応し、

褐色のメラノイジンが生成する反応です。そのため、食品は褐色に色づきます。また、この反応はアミノ酸や還元糖の配合量が多く、反応温度が高いほど促進されます。そこで私たちは市場調査により選定した白いパンであるイングリッシュマフィンと豆乳パンの原材料や製造工程を比較、製造しました。考察の結果、イングリッシュマフィンは乳製品の配合量が多く、焼成温度も高いが糖質の配合量が他のパンと比べて極端に少なく酵母によるアルコール発酵で代謝され、生地への残留分が少ないためメイラード反応が起こりにくいのではないかと仮説を立てました。この仮説を証明するために、発酵時間に差をつけたところ白く焼成できることを立証しました。さらに、白く製造するために糖質の種類と酵母の代謝の関係について「微生物利用」で学習し、酵母はマルトースを代謝できないことを知りました。そこで私たちは酵母が代謝できない糖と一部置き換えることで、間接的にメイラード反応を抑制できるのではないかと仮説を立てました。仮説を立証するために原材料の上白糖を水あめに置き換えて製造したところ理想とするホワイト食パンの製造に成功しました。さらに焼成後のテストでもホワイト食パンに着色はみられませんでした。ついに「糖質抑制」と「糖質の選定」によりホワイト食パンを完成させることができました。

## 研究内容

### (1)メイラード反応の抑制による ホワイト食パンの開発



### (2) 花・果実の活用法の検討

花びらは次の3点で活用法を検討しました。

- ①塩漬けをパン生地への添加する。
- ②熱風乾燥し、サクラフレークとして活用する。
- ③酵母を培養し、イーストの代替えとして活用する。

検証の結果、①は塩抜き処理を行うと桜の風味も失われてしまうことから、「食品化学」で学習した「味の対比効果」を利用し、甘味食材との組み合わせを検討しました。結果、蜂蜜と相性がよく、液状であることからアルギン酸カプセルの製造を試み、桜の花びらを閉じ込めることに成功しました。しかし、食べた際の花びらの異物感を払拭することができず活用には至りませんでした。

②は段階的に加熱乾燥を行い、フレーク状にすることに成功しました。しかし、繰り返し加熱乾燥を行うことで風味がなくなり、また微粉末化が困難であり活用には至りませんでした。

③は校内の八重桜の花びらから採取した天然酵母を培養することに成功しました。また、桜の「香り」も生かすことができました。イーストの代替えとして試作を重ねています。

果実については盛農の桜の木から採取した実をジャムに加工し、アルギン酸カプセルの製造に成功、ホワイト食パンへ添加し、商品発売に結びつけることができました。



### (3) 農産物「米」の活用法の検討

ホワイト食パンの原材料の水あめは米から製造できることを「食品化学」で学習し、規格外米の活用を試みました。規格外米について理解を深めるために(株)こめやを訪問し、カメムシ被害による規格外米の増加や米菓子製造への利用、そして低価格での販売など規格外米を取り巻く現状を知り、水あめにすることで糖類として広く普及が可能となり、米の消費拡大につなげることができるのではないかと考えました。水あめ製造については岩手県の食の匠である金野節子さんと交流を図り、盛農で家畜飼料となっている規格外米を利用し、水あめの製造に成功。ホワイト食パンに活用することができました。

### (4) 発色メカニズムの研究

焼成後に発色させるためには製造時の焼成で発色しないように被覆処理しなければなりません。無色のものが発色する商品がないかと調査したところ唇にのせ

ると無色から桜色に色づくリップクリームを見つけその技術を活用したいと思いました。そこで、私たちは(株)資生堂に勤務している工学博士、高橋洋平さんとWebで交流を図り高橋さんから3つのアドバイスをいただきました。1つ目は、「糖衣で包む」です。糖を利用し、マーブルチョコのように包括したらよいのではないかと。2つ目は「濃度を変える」です。アルギン酸カプセルの外側にさらに濃度を変えた膜を製造し、二重膜構造にすることで温度による強度を調節できるのではないかと。3つ目はシクロデキストリンを利用し、熱で溶解させるチップ剤を製造したらよいのではないかと教えてくださいました。現在、アルギン酸カプセルを糖で被覆する実験をしています。

### (5) 商品発売

規格外米で製造した水あめを配合したパン生地に、桜の実のエキスで製造したアルギン酸カプセルを包括した「さくらパン」を桜満開の時期に(株)川徳アネックス店にて販売することができました。販売日当日は多くのお客様に商品を販売でき、さらにマスメディアにも取り上げられ私たちの研究の成果を広くPRすることができました。



## 5 研究の成果

- (1) 「糖質抑制」と「糖質の選定」によりメイラード反応を抑制したホワイト食パンを開発することができました。
- (2) 花びらから天然酵母を採取、培養に成功することができました。果実を利用したアルギン酸カプセルを製造、「さくらパン」に活用することができました。
- (3) 規格外米から水あめ製造に成功、「さくらパン」の原材料に活用することができました。主食用米や米粉パンと競合することなく米の消費拡大における新たな分野を開拓することができました。
- (4) 焼成後に発色させる手法について企業と交流を図り研究の道筋を立てることができました。
- (5) 百貨店にて販売し、多くの方々に私たちの研究の成果をPRすることができました。

## 6 今後の課題

- (1) 花びらから採取した天然酵母を使用した「さくらパン」を安定的に製造する。
- (2) 焼成後にさくら色に発色させる技術の確立。
- (3) 規格外米を活用した水あめ製造を外部委託し、米の消費拡大を図る。

これからもさくらパンを通して「米」の消費拡大に貢献できるように研究を続けていきます。

岩手県産業教育振興会主催 専門高校生徒の研究文・作文コンクール  
優秀賞 受賞作品

「宮古市の漁師さんをつくるこんぶ（昆布）タづくり」

岩手県立盛岡農業高等学校

動物科学科 第3学年

杉 本 いづみ 高 橋 日 那 佐々木 実 南  
杉 原 穂乃佳 高 橋 翔太郎

## 1 研究の動機

東日本大震災が発生した2011年3月11日、岩手県では特に、沿岸地域の被害が深刻なものとなりました。10年が経過した現在では、震災廃棄物の処理が終了し、海岸保安施設や三陸復興道路などの復旧・整備が進んでいます。岩手県の復興の歩みは、前進し続けているのです。

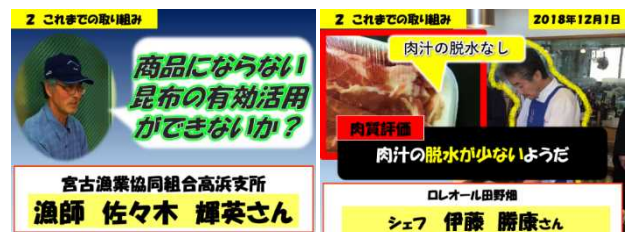
自分たちが考えて自ら動くことで三陸地域の復興や地域活性化のため、少しでも協力したい。このような思いから本プロジェクトは3年前からスタートしました。

そして、私たち5人は過去2年間の先輩方の研究を受け継ぎました。

## 2 これまでの取り組み

宮古市で漁業を営む佐々木輝秀さんより「すき昆布の製造過程で出る商品にならない昆布を有効活用できないか」とのお話があり、昆布を養豚用エコフィードとして活用することとし、検体には県内で流通と消費拡大が望まれている黒豚、パークシャー種を導入しました。

精肉した肉を精肉店やレストランなどで活用してもらったところ、肉汁の脱水が少ないということが分かりました。この点から昆布を食べて育ったブタ「こんぶタ」には「肉のうま味を逃さない保水力があるのではないか」という仮説を立てました。これを確かめるべく、さらなる肉質研究を進めていくこととしました。



## 3 本年度の研究計画

以上の仮説を踏まえ、「こんぶタ」の可能性を探るべく、次の7つの活動を計画しました。



## 4 研究および結果

### (1) 5月11日 宮古市訪問

宮古市高浜で漁業を営んでいる佐々木輝秀さんより約15kgの昆布をいただくことができました。



## (2) 7月17日 パークシャー種研究会に参加

事前学習として岩手県農業研究センター畜産研究所が主催する研究会に参加し、肥育についての講義やパークシャー種を導入している企業とその関係者の方々と意見を交わすことができました。

## (3) 5月～11月 飼料調整

昆布には、多糖質、各種ミネラル、ビタミン、アミノ酸などの60種類以上の栄養素が含まれており、飼料として期待できます。これらの成分を添加飼料として与えることで、代謝や発育の促進、病害などへの抵抗力、品質向上などといった生産性を高める効果があるのではないかと考えました。

過去2年間では最大2%の昆布を代替飼料としてきましたが、今年度はこれを3%添加とし、肥育試験を行いました。

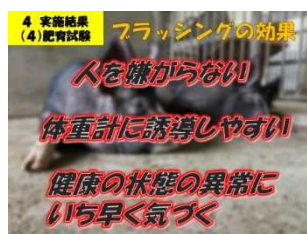


## (4) 肥育試験

試験区には、昆布を市販飼料の重量4.5%分を添加した「昆布区」市販飼料のみの「対象区」とし、2つの試験区での肥育試験を行いました。昆布区では、128日齢から出荷までの210日齢までの82日間を昆布肥育期間とし、昆布添加飼料を与えました。

肥育試験では、月曜日、水曜日、金曜日を対照区・昆布区、両方の体重測定日とし、毎週実施しました。より、正確なデータを得るために長期休みも当番制で一般管理や体重測定を行いました。

一般管理では、主に給餌、除糞のほかにブラッシングを実施しました。ブラッシングは昨年度から実施しており、皮膚病の予防、健康管理、人との馴化を目的としています。



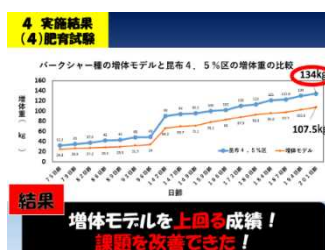
今年度の取り入れたところ、出荷作業がスムーズに行えたほか、人との触れ合いを嫌がらない、体重計に誘導がしやすい、体の異常にいち早く築くことができるなどのメリットが見受けられました。

また、試験区ともに不断給餌とし、合計135日間の発育成績を比較しました。

結果として、試験区ともに発育の有意差は認められず、昆布4.5%添加飼料での肥育は可能であることが分かりました。

過去2年間での課題では、パークシャー種の増体モデルと比較すると目標値を下回ることが挙げられていましたが、今回の結果ではこれを上回る結果となり、課題を改善することができました。

枝肉の比較では、枝重量が対象区90.5kg、昆布区89.0kgと劣っていましたが、歩留率では、対象区71%、昆布区74%と優れていることが分かりました。



#### (5) 11月30日 食肉加工研修

株式会社「肉のふがね」の代表取締役府金伸治さんのご協力のもと岩手町にある「肉のふがね川口店」にて肥育した黒豚の加工を行いました。

そして、府金さんに対象区と昆布区のものごとを比較してもらったと、対象区のものより昆布区の方が肉の締まりが良い、肉質がきめ細かいとの評価をいただきました。



#### (6) 校内販売実施

「肉のふがね」と製造した商品を学校に持ち帰り、販売や試食アンケートを行いました。

当日は新型コロナウイルスも影響もあり、ソーシャルディスタンスを守っての販売会となりましたが、多くの生徒、先生方が購入に来てくださり、無事完売することができました。

試食アンケートでは、部分的な評価では昆布区より対照区の方がよいといった意見が多かったのですが、総合的な評価では昆布区の方が優れているという昨年度とは異なる結果となりました。この結果を受けて、さらに研究を進めていきたいと思えます。

また今年度の商品のラベルデザインは私たちが考案しました。

「心を込めて育てたのでトンでもない愛情&うま味がつまっています!」というメッセージを添えて2種類のラベルが完成しました。



#### (7) 5月～12月 発信及び普及

これまでの取り組みは岩手日報、学校 HP などを通して地域に発信しています。そして、これらの活動に地元精肉業者、岩手農業センターなどの地域の各関係機関、企業が賛同してくださいました。生産から加工、販売を通じた私たちの活動に多くの反響をいただき、新たなブランド豚の作出、普及に向けた取り組みはまた一歩前進しました。



#### 5 今後の課題

- ①増体成績と昆布添加飼料の相関についての分析の継続
- ②昆布添加による肉質・食味への効果について産学官連携を図りながら分析を続ける。
- ③三陸復興や地域活性化に繋げるために本プロジェクトの発信を続ける。



#### 6 終わりに

プロジェクトを通じて多くの方々と繋がり、宮古市の復興や地域活性化にこんづたの肥育を通して関わることができました。

また、生産者としての責任や命の大切さなどの多くを学ぶことができました。このような貴重な体験ができたことに、本プロジェクトに協力していただいた方々に感謝し、今後の活動に生かしていきたいです。



岩手県産業教育振興会主催 専門高校生徒の研究文・作文コンクール  
作文の部 最優秀賞 受賞作品

「私を変えてくれた言葉」

岩手女子高等学校

看護科 3年

蔦 谷 秋 良

中学3年生秋、15歳の私はこの学校に入ること  
を決断した。きっかけはオープンスクール。この  
学校に看護科があることは知っていたが、詳し  
いことは何も知らなかった。オープンスクールで、  
看護科では5年という最短のコースで国家試験を  
受けることができ、それに合格すれば看護師にな  
れるということを知った。中学3年生でまだ将来  
の夢がなかった私は、看護師という安定した職に  
憧れた。私が当時看護師に対して持っていたイメ  
ージは、テレビドラマや映画で見たようなものし  
かなく、入院している患者のベッドサイドで声を  
かけたり、点滴や採血、予防接種をするなどだっ  
た。病気の人にやさしくする、まさに白衣の天使  
というイメージだった。そんな看護師に憧れた私  
は、あいまいな理由のままこの高校に入ること  
を決めた。

入学することが決まり、もらってきた教科書を  
パラパラと開いた。そこで初めに私の目に飛び込  
んできたのは敵便のページだった。看護師の仕事  
についてそれほど知らなかった私は、看護師はこ  
んなこともするのか、と衝撃を受けたことを覚え  
ている。自分が想像していた看護師と、教科書  
の中の看護師はまったく違うもので、大きなショッ  
クを受けた。そして自分がこれをやっているの  
かととても不安になった。そんな気持ちを抱えた  
まま私の高校生活が始まった。

看護科の授業を受ける毎日の中で、自分が持つ

ていた看護師のイメージと現実では大きな違いが  
あるということをより実感していった。ある授業  
で、看護師はきれいな仕事ばかりではないと言わ  
れたことが印象に残っている。そんな厳しいこと  
を言われることも多く、看護師になるということ  
は私が思っていたよりはるかに大変だということ  
を知った。看護師になるという明確な意思も覚悟  
もなく、あいまいな私が看護師になれるのか、な  
っていいのか、やはり15歳での決断は早すぎた  
のではないかと、そんなことを考える毎日だった。  
このまま、看護師になりたいというはっきりした  
気持ちの持てない私が看護科の勉強をすることに  
意味があるのか分からず、たくさんの課題も今ま  
で以上に辛く感じた。やはりこの学校に入ったの  
は間違いだった、いつやめようかと考える日々が  
続いた。そんな中、2年生の9月、初めての病院  
実習が始まった。

私は病院実習を楽しみにしていた。なぜなら、  
実際に病院で看護師の業務を体験する、そんなも  
のだと考えていたからだ。しかし実際に実習が始  
まり、現実はそんなに甘くないということを実感  
した。

まず、初めて本物の患者さんと接してみて、コ  
ミュニケーションの難しさに打ちのめされた。そ  
の場で何とかなるだろうと思っていたが、いざ患  
者さんと話しをしてみると、とにかく話が続かな  
かった。沈黙の時間が流れ、患者さんが困ってい

る雰囲気伝わってきた。とても申し訳なく感じた。

技術の面でもうまくいかないことだらけだった。今まで練習してきたクラスメイトたちとは違い、患者さんの腕はとても細く、血圧計のマンシェットを巻くことでも精一杯だった。また、学校の練習とは違い、実際の病院で患者さんに対して行う援助では、それぞれの患者さんに合った方法や援助内容を考えて行わなければならない、すごく難しいことだと思った。そして自分のできなさをとても痛感した。

しかしそれよりも一番辛かったものは、記録物だった。文章を書くことが苦手だった私は、毎日深夜まで記録物を書いた。周りが終わってる中で、どうして私は出来ないのか、そう思うたびに「向いていない」という言葉が頭に浮かんだ。しかし妥協はできなかった。その一番の理由は、自分の評価のためだった。私はこのとき患者さんと接する際や技術を行うとき、記録物などのすべてで自分の評価を気にしていた。そんな自分のまま、何とか実習の最終日を迎えた。

最後の挨拶で患者さんに声をかけにいった。そのとき私は、今でも忘れられない言葉を患者さんにもらった。それは「あなたのおかげでだいぶ良くなった気がする、ありがとう」という言葉だった。何もできていないと思っていた私は思いがけないその言葉に驚いた。しかしすぐに大きな喜びとなった。こんな私が少しでも患者さんの役に立てていたと思うととても嬉しかった。お世辞だったかもしれないが、私はその言葉で看護のやりがいや嬉しさを感じることができた。そして今まで自分のことばかりを考えていたことが恥ずかしくなった。私は患者さんのために看護をしているのだ。これからはどんな時も患者さんを一番に考えようと思った。そして、私の夢が決まった。

私は看護師になろうと思った。これからもたくさん壁があると思う。普通の高校生になりたいと思うときもあるだろう。それでも私は患者さん

にもらった言葉を思い出しながら、自分の夢に向かって全力で走りたい。

岩手県産業教育振興会主催 専門高校生徒の研究文・作文コンクール  
作文の部 優秀賞 受賞作品

「食の匠」との関わりを通して気づいた私の生きる道

岩手県立遠野緑峰高等学校

生産技術科 第3学年

菊 池 直 哉

平成25年12月、「和食・日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。四季折々の豊かな風土と人々の暮らしの中で育まれその土地その土地で根付いている我が国の食文化が世界に評価されたのです。当時小学生だった私にとって、嬉しさや誇らしさを超えた強い感激を覚えた出来事でした。

このときから私は、食と料理に興味を持ち始め、中学生の時、調理や食文化を学べる学校に進学したいと考えました。そして、将来に繋げるために本校を受験し入学しました。

私が選んだ生産技術科の生活文化コースは、農業科目の他に家庭科科目を深く学習するコースです。主に食物や調理の知識と技術、衣服などの生活文化について学びます。そしてこれらの基本となる作物の生育や特徴・性質などについて、農業の授業でしっかり学習します。さらに、総合実習などの授業や課外活動で、農業と家庭の授業で学んだことを地域の産業や生活に役立たせるための発展的な学習に取り組む、とても充実したコースです。

昨年12月には、本コースでは「食の匠郷土料理伝承会」が行われ、私たちは、遠野に伝わる郷土料理を学ぶ機会に恵まれました。農業改良普及センターと遠野食の匠連絡会との主催で、毎年生活文化コース2年生を対象に企画されている学習会です。地元で永く受け継がれてきた郷土料理を体験でき、とても貴重な学習の機会でした。

食の匠・菅田ツヤ子さんを講師にお招きし、岩手県の認定を受けた料理「みのむし南蛮」とその応用料理を教えてくださいました。「みのむし南蛮」は、根菜類が旬である冬季に作られる漬け物料理です。拍子木切りして堅めにゆでた人参とゴボウを、夏に収穫し塩蔵しておいたシソの葉できつく巻き、唐辛子を加えたしょうゆベースのつけ汁に漬けて作ります。

実は私は、シソも漬け物も苦手だったので、郷土料理を学べる嬉しさの反面、内心ではがっかりしていたのです。けれども、出来上がったみのむし南蛮は、漬け物ながら彩りが良く、食べてみるととてもおいしいものでした。自分でも信じられないほど、何個でも食べられ、匠の味の奥深さにとても感激しました。遠野の地に昔から受け継がれている、素材をおいしくいただく工夫と、食べ物に困らないための保存方法の知恵が、味と見栄えの両面で生かされ、今日まで息づいているのだなあと感じ、「さすが匠の技!」と思いました。

伝承会を機に、私は食の匠に対する関心が深まり、農業改良普及員の方を訪ね、食の匠について詳しいお話を伺いました。

食の匠とは、郷土食などの優れた技術を持ち、技術を伝承した活動ができると県から認定された方のことです。地域の食材を生かした郷土料理と地域の食文化を熟知し伝承できると認められた人および料理に与えられる「名誉職」のようなものだと思います。岩手県では、食に関する活動を通じて

地域を活性化するねらいで平成 8 年度に始まり、平成 19 年度に改定された認定要項により認定されています。令和 2 年度までには県内で 286 人の方が認定されており、遠野市では現在 11 人の匠がいます。資格や職業、性別などの認定規定はなく、知識や技術を持ち、地域や関連業界から厚い信望と高い評価を得ていることが必要条件とのことでした。

勉強して分かったことは、食の匠の認定に値する人間とは、郷土とその食文化への思い、その料理に対する積み重ね、多くの人にもまた次の世代に伝承し情報発信できる能力とエネルギー、こういった人間としての「深さ」「豊かさ」が備わっている人だということ。つまり、単に料理好きで、調理技術が優れていても、食の匠には簡単にはなれるものではないということです。

「食」を自分の得意分野としてきた私は、ここまでの食の匠との関わりから、将来は、「食の匠」あるいはそれに近い形で、地域の役に立つ人になりたいと考えるようになりました。しかし、同時にその道のりはとてつもなく遥か遠いものを感じました。

今年の 3 月、岩手県で新しい食育推進計画が策定されました。全ての県民が生涯にわたり、健全な食生活を営み、心身ともに健康でいきいきと暮らしていくことを目標に、「望ましい食習慣の形成」や「食の安全安心」「地域に根ざした食」などを柱とした食育の推進に取り組むものです。また、SDGs への貢献も見据え、持続可能で健康的な「食」をめざしているとのことでした。

そして、この推進計画には、食文化や食生活の継承として食の匠の活動支援も盛り込まれています。このことを知り、私は、あらためて「食の匠」への思いを深くし、岩手の食育推進に貢献できる人間になりたいと強く思いました。郷土の料理や食文化を継承することや地元でとれる豊富な作物をおいしく料理しておいしく頂くことこそが、地域の健康や幸せにつながると考えたからです。

ふるさとの豊かな作物や食生活をあたりまえの「日常」と思っているお父さんお母さん世代の方々に、実はとても魅力的ですばらしい文化なのだという事を再認識してもらいたいです。そして、次世代を生きる子どもたちに伝え、継承していったらいいと考えています。

そのために、私は、ふるさと遠野の食や料理についてもっともっと勉強し、知識や技術を吸収していきたいです。さらに、地域に必要なものや足りないものは何なのかを探究し、地域の活性化にも努めたいと思います。食の匠から学んだ、「地域の人や風土を大切に想い地域の文化を生かすよう誠意を持って取り組む」という姿勢を、自分の中で育みしっかり根付かせ、真心をもって地域に貢献できる「遠野の匠」を目指してこれからも邁進していきます。

ご か し き ん  
御下賜金記念優良卒業生選奨規程

公益財団法人 産業教育振興中央会

1. 趣旨

各専門高校等の卒業時に、学業及び人物とも最も優れた卒業予定者を選奨することにより、我が国産業教育の振興に寄与するとともに、生徒の学業等諸活動の活性化に資することを目的とする。

2. 選奨の対象生徒について

- (1) 農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉などの専門教育を主とする学科及び総合学科を置く高等学校等（**本会会員校**）において、学業及び人物とも最も優れた卒業予定者を対象とする。選奨候補者は、原則として学校ごとに1名とし、分校、定時制及び通信制の課程は、それぞれ1校とみなす。
- (2) 複数の分野の学科を置く高等学校においては、例えば、農業の園芸科、農業土木科、畜産科、工業の機械科、電気科、建築科などの学科別とせず、農業、工業等の分野ごとに1名に限定する。
- (3) 総合学科については、専門分野コースの数にかかわらず総合学科として、1名とする。
- (4) 別科、専攻科については、上記に準じて選奨することができる。

3. 表彰状の授与

選定された者に対し、卒業式当日、本会会長名の表彰状を授与する。

## 岩手県産業教育振興会優良卒業生選奨規定

岩手県産業教育振興会

- 1 令和3年度卒業予定者で人物・学業ともに優秀である者、もしくは専門高校生徒の研究文・作文コンクール、各種競技会、体験発表会等で優秀な成績を収めた者。
- 2 各学科ごとに1名とする。総合学科にあっては各系列1名（普通科系列を除く）  
また、普通科にあっては産業に関するコース選択者を含めてもよいこと。
- 3 専攻科及び定時制も対象とすること。
- 4 御下賜金記念優良卒業生と重複しないこと。
- 5 表彰状申込書 別紙  
※ 令和3年10月29日（金） ファイルをダウンロードしメールで報告願います
- 6 様式ファイルのダウンロード  
[https://www.sanshin-iwate.jp/99\\_blank003038.html](https://www.sanshin-iwate.jp/99_blank003038.html)

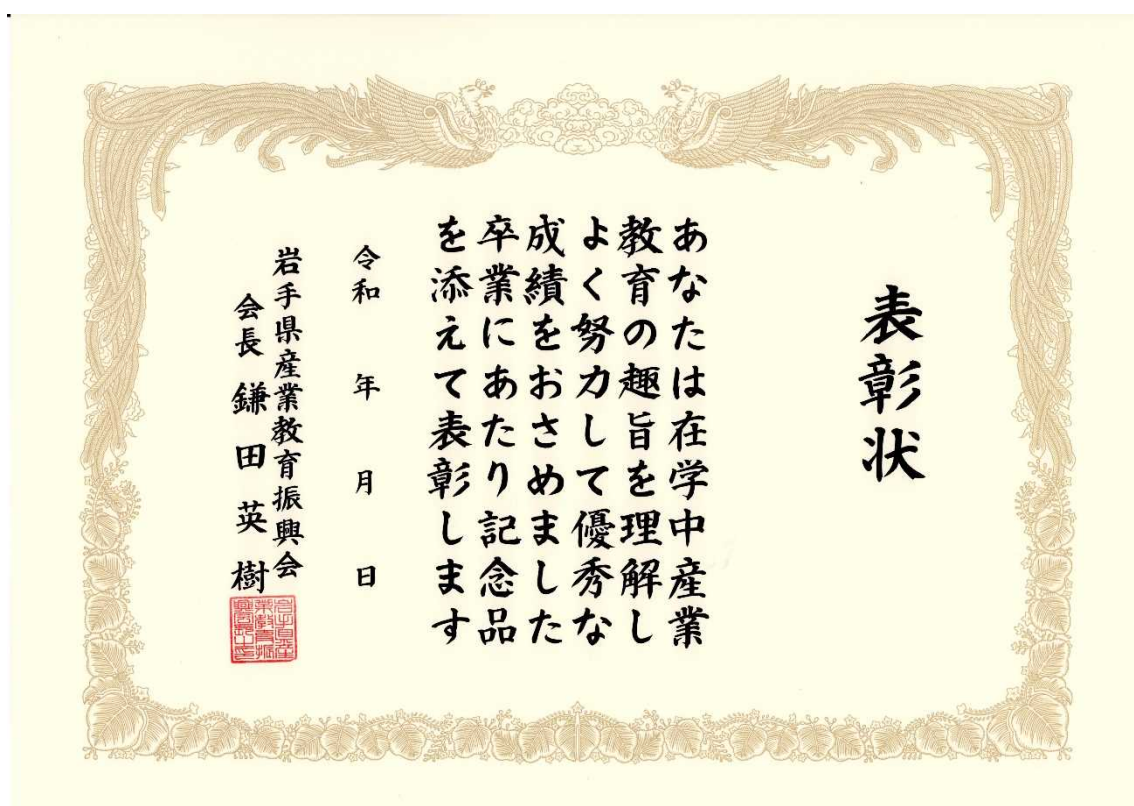
令和3年度 御下賜金記念優良卒業生選奨 表彰状配布一覧

| 番号 | 学校名      | 中央会表彰      |            | 岩手県産業教育振興会表彰        |    |    |    |    |    |    |      |           |
|----|----------|------------|------------|---------------------|----|----|----|----|----|----|------|-----------|
|    |          | 大学科<br>各1名 | 専攻科<br>定時制 | 各小学科代表1名・総合学科は各系列1名 |    |    |    |    |    |    |      | 小学科<br>合計 |
|    |          |            |            | 農業                  | 工業 | 商業 | 水産 | 家庭 | 福祉 | 看護 | 普通就職 |           |
| 1  | 盛岡農業     | 1          |            | 5                   |    |    |    |    |    |    |      | 5         |
|    | 盛岡農業(専)  |            | 1          | 1                   |    |    |    |    |    |    |      | 1         |
| 2  | 盛岡工業(全)  | 1          |            |                     | 7  |    |    |    |    |    |      | 7         |
|    | 盛岡工業(定)  |            | 1          |                     | 1  |    |    |    |    |    |      | 1         |
| 3  | 盛岡商業     | 1          |            |                     |    | 3  |    |    |    |    |      | 3         |
| 4  | 平舘       | 1          |            |                     |    |    |    | 1  |    |    |      | 1         |
| 5  | 紫波総合     | 1          |            | 1                   |    | 1  |    | 1  | 1  |    |      | 4         |
| 6  | 花巻農業     | 1          |            | 3                   |    |    |    |    |    |    |      | 3         |
| 7  | 花北青雲     | 3          |            |                     | 1  | 1  |    | 1  |    |    |      | 3         |
| 8  | 北上翔南     | 1          |            |                     |    | 1  |    | 1  |    |    |      | 2         |
| 9  | 黒沢尻工業    | 1          |            |                     | 6  |    |    |    |    |    |      | 6         |
|    | 黒沢尻工業(専) |            | 1          |                     | 1  |    |    |    |    |    |      | 1         |
| 10 | 水沢農業     | 1          |            | 2                   |    |    |    |    |    |    |      | 2         |
| 11 | 水沢工業     | 1          |            |                     | 4  |    |    |    |    |    |      | 4         |
| 12 | 水沢商業     | 1          |            |                     |    | 3  |    |    |    |    |      | 3         |
| 13 | 岩谷堂      | 1          |            | 1                   | 1  | 1  |    | 1  |    |    |      | 4         |
| 14 | 一関第二     | 1          |            |                     |    | 1  |    | 2  | 1  |    |      | 4         |
| 15 | 一関工業     | 1          |            |                     | 4  |    |    |    |    |    |      | 4         |
| 16 | 大東       | 1          |            |                     |    | 1  |    |    |    |    |      | 1         |
| 17 | 千厩       | 2          |            | 2                   | 1  |    |    |    |    |    |      | 3         |
| 18 | 高田       | 1          |            |                     |    |    | 1  |    |    |    |      | 1         |
| 19 | 大船渡東     | 4          |            | 1                   | 3  | 1  |    | 1  |    |    |      | 6         |
| 20 | 釜石商工     | 2          |            |                     | 2  | 1  |    |    |    |    |      | 3         |
| 21 | 遠野緑峰     | 2          |            | 1                   |    | 1  |    |    |    |    |      | 2         |
| 22 | 宮古商工     | 2          |            |                     | 3  | 4  |    |    |    |    |      | 7         |
| 23 | 宮古水産     | 2          |            |                     |    |    | 2  | 1  |    |    |      | 3         |
|    | 宮古水産(専)  |            | 1          |                     |    |    | 1  |    |    |    |      | 1         |
| 24 | 久慈東      | 1          |            | 1                   |    | 1  | 1  | 1  | 1  |    |      | 5         |
| 25 | 久慈工業     | 1          |            |                     | 2  |    |    |    |    |    |      | 2         |
| 26 | 種市       | 1          |            |                     | 1  |    |    |    |    |    |      | 1         |
| 27 | 福岡工業     | 1          |            |                     | 2  |    |    |    |    |    |      | 2         |
| 28 | 一戸       | 1          |            | 1                   |    | 1  |    | 1  | 1  |    |      | 4         |
| 29 | 盛岡市立     | 1          |            |                     |    | 1  |    |    |    |    |      | 1         |
| 30 | 岩手女子     | 2          |            |                     |    |    |    |    | 1  | 1  | 1    | 3         |
| 31 | 江南義塾     | 1          |            |                     |    | 1  |    |    |    |    |      | 1         |
| 32 | 盛岡誠桜     | 2          |            |                     |    | 1  |    | 2  |    |    | 1    | 4         |
|    | 盛岡誠桜(専)  |            | 1          |                     |    |    |    | 1  |    |    |      | 1         |
| 33 | 盛岡スコーレ   | 1          |            |                     |    |    |    | 1  |    |    |      | 1         |
| 34 | 専大北上     | 2          |            |                     | 1  | 1  |    |    |    |    |      | 2         |
| 35 | 水沢第一     | 1          |            |                     |    |    |    | 1  |    |    |      | 1         |
| 36 | 一関学院     | ※          | ※          |                     |    |    |    |    |    |    | 1    | 1         |
|    | 合計       | 48         | 5          | 19                  | 40 | 25 | 5  | 16 | 5  | 1  | 3    | 114       |

※ 一関学院は産業教育振興中央会に未加入



産業教育振興中央会 御下賜金記念優良卒業生表彰



岩手県産業教育振興会 優良卒業生表彰

令和3年度 岩手県産業教育振興会 支援対象校・支援対象生徒一覧

| 番号 | 学校名            | 学科名       | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 合計  | 総計  |
|----|----------------|-----------|----|----|----|----|-----|-----|
| 1  | 盛岡農業<br>専攻科を除く | 動物科学科     | 33 | 31 | 36 |    | 100 | 457 |
|    |                | 植物科学科     | 23 | 21 | 32 |    | 76  |     |
|    |                | 食品科学科     | 33 | 38 | 39 |    | 110 |     |
|    |                | 人間科学科     | 22 | 27 | 35 |    | 84  |     |
|    |                | 環境科学科     | 21 | 32 | 34 |    | 87  |     |
| 2  | 盛岡工業           | 機械科       | 39 | 29 | 39 |    | 107 | 728 |
|    |                | 電子機械科     | 40 | 36 | 34 |    | 110 |     |
|    |                | 電気科       | 40 | 25 | 39 |    | 104 |     |
|    |                | 電子情報科     | 40 | 39 | 38 |    | 117 |     |
|    |                | 土木科       | 25 | 40 | 37 |    | 102 |     |
|    |                | 工業化学科     | 12 | 17 | 24 |    | 53  |     |
|    |                | 建築・デザイン科  | 37 | 40 | 37 |    | 114 |     |
|    |                | 工業科(定時制)  | 6  | 8  | 6  | 1  | 21  |     |
| 3  | 盛岡商業           | 流通ビジネス科   | 72 | 81 | 80 |    | 233 | 690 |
|    |                | 会計ビジネス科   | 58 | 81 | 81 |    | 220 |     |
|    |                | 情報ビジネス科   | 78 | 81 | 78 |    | 237 |     |
| 4  | 平舘             | 家政科学科     | 13 | 22 | 9  |    | 44  | 44  |
| 5  | 紫波総合           | 情報・経済     |    | 21 | 26 |    | 47  | 165 |
|    |                | エコロジー・フード |    | 17 | 33 |    | 50  |     |
|    |                | ライフデザイン   |    | 15 | 16 |    | 31  |     |
|    |                | 福祉・健康     |    | 17 | 20 |    | 37  |     |
| 6  | 花巻農業           | 生物科学科     | 35 | 32 | 42 |    | 109 | 307 |
|    |                | 環境科学科     | 31 | 9  | 41 |    | 81  |     |
|    |                | 食農科学科     | 37 | 42 | 38 |    | 117 |     |
| 7  | 花北青雲           | 情報工学科     | 34 | 30 | 40 |    | 104 | 441 |
|    |                | ビジネス情報科   | 70 | 81 | 81 |    | 232 |     |
|    |                | 総合生活科     | 27 | 42 | 36 |    | 105 |     |
| 8  | 北上翔南           | 情報系列      |    | 41 | 33 |    | 74  | 136 |
|    |                | 環境系列      |    | 28 | 34 |    | 62  |     |
| 9  | 黒沢尻工業          | 機械科       | 40 | 27 | 38 |    | 105 | 573 |
|    |                | 電気科       | 26 | 34 | 39 |    | 99  |     |
|    |                | 電子科       | 25 | 27 | 25 |    | 77  |     |
|    |                | 電子機械科     | 38 | 36 | 39 |    | 113 |     |
|    |                | 土木科       | 30 | 34 | 35 |    | 99  |     |
|    |                | 材料技術科     | 16 | 20 | 31 |    | 67  |     |
|    |                | 専攻科       | 8  | 5  |    |    | 13  |     |
| 10 | 水沢農業           | 農業科学科     | 29 | 40 | 28 |    | 97  | 153 |
|    |                | 食品科学科     | 16 | 18 | 22 |    | 56  |     |

令和3年度 岩手県産業教育振興会 支援対象校・支援対象生徒一覧

| 番号 | 学校名  | 学科名     | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 合計  | 総計  |
|----|------|---------|----|----|----|----|-----|-----|
| 11 | 水沢工業 | 機械科     | 31 | 40 | 33 |    | 104 | 411 |
|    |      | 電気科     | 23 | 36 | 39 |    | 98  |     |
|    |      | 設備システム科 | 26 | 35 | 40 |    | 101 |     |
|    |      | インテリア科  | 33 | 36 | 39 |    | 108 |     |
| 12 | 水沢商業 | 商業科     | 30 | 41 | 35 |    | 106 | 290 |
|    |      | 会計ビジネス科 | 10 | 39 | 23 |    | 72  |     |
|    |      | 情報システム科 | 31 | 42 | 39 |    | 112 |     |
| 13 | 岩谷堂  | 生物生産系列  |    | 20 | 16 |    | 36  | 131 |
|    |      | 産業工学系列  |    | 11 | 14 |    | 25  |     |
|    |      | 流通情報系列  |    | 12 | 20 |    | 32  |     |
|    |      | 生活福祉系列  |    | 20 | 18 |    | 38  |     |
| 14 | 一関第二 | ビジネス系列  |    | 23 | 28 |    | 51  | 99  |
|    |      | 環境・生活系列 |    | 19 | 15 |    | 34  |     |
|    |      | 福祉系列    |    | 5  | 9  |    | 14  |     |
| 15 | 一関工業 | 電気科     |    |    | 23 |    | 23  | 347 |
|    |      | 電子科     |    |    | 31 |    | 31  |     |
|    |      | 電気電子科   | 36 | 39 |    |    | 75  |     |
|    |      | 電子機械科   | 38 | 39 | 39 |    | 116 |     |
|    |      | 土木科     | 40 | 33 | 29 |    | 102 |     |
| 16 | 大東   | 情報ビジネス科 | 21 | 29 | 18 |    | 68  | 68  |
| 17 | 千厩   | 生産技術科   | 31 | 27 | 36 |    | 94  | 170 |
|    |      | 産業技術科   | 24 | 32 | 20 |    | 76  |     |
| 18 | 高田   | 海洋システム科 | 15 | 12 | 6  |    | 33  | 33  |
| 19 | 大船渡東 | 農芸科学科   | 9  | 22 | 17 |    | 48  | 263 |
|    |      | 機械電気科   | 19 | 34 | 40 |    | 93  |     |
|    |      | 情報処理科   | 20 | 25 | 16 |    | 61  |     |
|    |      | 食物文化科   | 23 | 17 | 21 |    | 61  |     |
| 20 | 釜石商工 | 機械科     | 16 | 34 | 32 |    | 82  | 234 |
|    |      | 電気電子科   | 14 | 19 | 27 |    | 60  |     |
|    |      | 総合情報科   | 22 | 35 | 35 |    | 92  |     |
| 21 | 遠野緑峰 | 生産技術科   | 27 | 26 | 28 |    | 81  | 144 |
|    |      | 情報処理科   | 14 | 28 | 21 |    | 63  |     |
| 22 | 宮古商工 | 商業科     |    |    | 40 |    | 40  | 487 |
|    |      | 会計科     |    |    | 14 |    | 14  |     |
|    |      | 流通経済科   |    |    | 27 |    | 27  |     |
|    |      | 情報科     |    |    | 34 |    | 34  |     |
|    |      | 総合ビジネス科 | 40 | 36 |    |    | 76  |     |
|    |      | 流通ビジネス科 | 27 | 40 |    |    | 67  |     |
|    |      | 情報ビジネス科 | 40 | 39 |    |    | 79  |     |
|    |      | 機械科     |    |    | 17 |    | 17  |     |
|    |      | 電気電子科   |    |    | 27 |    | 27  |     |
|    |      | 建築設備科   |    |    | 22 |    | 22  |     |
|    |      | 機械システム科 | 29 | 26 |    |    | 55  |     |
|    |      | 電気システム科 | 18 | 11 |    |    | 29  |     |

令和3年度 岩手県産業教育振興会 支援対象校・支援対象生徒一覧

| 番号      | 学校名            | 学科名         | 1年    | 2年    | 3年    | 4年 | 合計  | 総計    |
|---------|----------------|-------------|-------|-------|-------|----|-----|-------|
| 23      | 宮古水産<br>専攻科を除く | 海洋生産科       | 9     | 11    | 12    |    | 32  | 117   |
|         |                | 食物科         | 22    | 33    | 30    |    | 85  |       |
| 24      | 久慈東            | 食物系列        |       | 23    | 17    |    | 40  | 274   |
|         |                | 介護福祉系列      |       | 12    | 13    |    | 25  |       |
|         |                | 海洋科学系列      |       | 9     | 8     |    | 17  |       |
|         |                | 環境緑化系列      |       | 29    | 27    |    | 56  |       |
|         |                | 情報ビジネス系列    |       | 69    | 67    |    | 136 |       |
| 25      | 久慈工業           | 電子機械科       | 13    | 8     | 14    |    | 35  | 73    |
|         |                | 建設環境科       | 10    | 11    | 17    |    | 38  |       |
| 26      | 種市             | 海洋開発科       | 23    | 22    | 29    |    | 74  | 74    |
| 27      | 福岡工業           | 機械システム科     | 30    | 25    | 28    |    | 83  | 139   |
|         |                | 電気情報システム科   | 27    | 11    | 18    |    | 56  |       |
| 28      | 一戸             | 情報ビジネス系列    |       | 7     | 12    |    | 19  | 131   |
|         |                | 介護・福祉系列     |       | 15    | 5     |    | 20  |       |
|         |                | 生活・文化系列     |       | 48    | 44    |    | 92  |       |
| 29      | 盛岡市立           | 商業科         | 73    | 84    | 79    |    | 236 | 236   |
| 30      | 岩手女子           | 看護科         | 48    | 48    | 44    |    | 140 | 290   |
|         |                | 福祉教養科       | 23    | 20    | 11    |    | 54  |       |
|         |                | 看護専攻科       | 47    | 49    |       |    | 96  |       |
| 31      | 江南義塾           | 情報処理科       | 2     | 6     | 6     |    | 14  | 14    |
| 32      | 盛岡誠桜           | 商業系列        |       | 41    | 38    |    | 79  | 207   |
|         |                | 家政系列        |       | 24    | 12    |    | 36  |       |
|         |                | 食物調理系列      |       | 21    | 20    |    | 41  |       |
|         |                | 専攻科(保育子供未来) | 23    | 28    |       |    | 51  |       |
| 33      | 盛岡スコーレ         | 調理選択        |       | 31    | 20    |    | 51  | 51    |
| 34      | 専大北上           | 商業科         | 76    | 88    | 67    |    | 231 | 298   |
|         |                | 自動車科        | 21    | 25    | 21    |    | 67  |       |
| 35      | 水沢第一           | 調理科         | 30    | 38    | 33    |    | 101 | 101   |
| 36      | 一関学院           |             |       |       |       |    |     |       |
|         |                |             | 1年    | 2年    | 3年    | 4年 |     | 総計    |
| 令和3年度合計 |                |             | 2,238 | 3,082 | 3,055 | 1  |     | 8,376 |
| 令和2年度合計 |                |             | 2,462 | 3,122 | 3,245 |    |     | 8,829 |
| 令和元年度合計 |                |             | 2,626 | 3,347 | 3,378 |    |     | 9,351 |

岩手県産業教育振興会  
令和3年度  
事業活動報告書

令和4年3月23日発行

発行者：岩手県産業教育振興会

事務局：〒020-0841

岩手県盛岡市羽場18-11-1

岩手県立盛岡工業高等学校内

TEL 019-639-7250 FAX 019-656-0677

E-mail e-info@sanshin-iwate.jp

URL <https://www/sanshin-iwate.jp/>